

お お た 区 議 会
年 報

—平成22年版—

2010

大田区議会

目 次

1 議 会 構 成

(1) 議 員	
① 議 員 数	1
② 会派別議員数	1
③ 議 員 名 簿	1
(2) 会 議	
① 本 会 議	3
② 常任委員会	3
③ 議会運営委員会	3
④ 特別委員会	4
⑤ 委員会別所属議員名簿	5

2 議 会 活 動

(1) 本会議	
① 定 例 会	14
② 臨 時 会	14
(2) 常任委員会・特別委員会開催回数	14
(3) その他の会議開催回数	15
(4) 種類別議決件数	15
(5) 議決事項一覧表	
① 区長提出議案	16
② 議員提出議案	23
③ 委員会提出議案	23
④ 議員提出事件	23
⑤ 選 挙	24
⑥ 同 意	24
⑦ 答 申	24
⑧ 報 告	25
(6) 定例会の質問事項(通告)	27
(7) 予算・決算特別委員会の質疑事項(総括質疑 通告)	34
(8) 委員会別請願・陳情審査件数と処理内訳	37
(9) 委員会別請願・陳情	
① 総務財政委員会	38
② 地域・産業委員会	39
③ 保健福祉委員会	40
④ 都市・環境委員会	42
⑤ こども文教委員会	44
⑥ 議会運営委員会	46
⑦ 交通問題調査特別委員会	46
⑧ 羽田空港対策特別委員会	46

(10) 決議・意見書	
・東京都住宅供給公社一般賃貸住宅における 家賃改定に関する意見書 ……	47
・東京国際空港周辺部の道路交通対策に関する意見書 ……	48
・東京国際空港A滑走路北側離陸左旋回の早期廃止を求める意見書	49
・子ども手当の全額国費負担を求める意見書 ……	50
(11) 要望書	
・東京都住宅供給公社一般賃貸住宅における 家賃改定に関する要望書 ……	51
(12) 国内視察	
① 常任委員会行政視察 ……	52
② 特別委員会行政視察 ……	52
(13) 親善訪問 ……	53
① 大田区議会大連市親善訪問団報告 ……	54
3 歴代議長・副議長・議員選出監査委員	
(1) 歴代議長 ……	69
(2) 歴代副議長 ……	71
(3) 歴代議員選出監査委員 ……	73
4 予算等	
(1) 議会費（当初予算） ……	75
(2) 議員報酬 ……	75
(3) 議会刊行物 ……	76
5 事務局（組織図） ……	76

1 議会構成 (平成22年12月28日現在)

(1) 議員 平成19年5月1日就任 (平成19年4月22日選挙)

①議員数 法定上限数56人 条例定数50人 (条例改正 平成9年10月)

②会派別議員数

平成22年12月28日現在

会派名	略称	構成人員 (人)			ダイヤルイン	内線
		総数	男性	女性		
自由民主党大田区民連合	自 民	16	16	0	5744 - 1480 1469	4041～4045 4046～4050
大田区議会公明党	公 明	12	8	4	5744 - 1488	4051～4057
日本共産党大田区議団	共 産	7	3	4	5744 - 1477	4061～4066
大田区議会民主党	民 主	6	4	2	5744 - 1475	4081～4085
大田区議会緑の党	緑	1	0	1	5744 - 1479	4074
区議会大田区民の会	区民の会	1	1	0	5744 - 1476	4073
自由民主党大田区議会	自民大田	1	1	0	5744 - 1617	4075
無所属の会	無 所 属	1	1	0	5744 - 1478	4071
たちあがれ日本	日 本	1	1	0	5744 - 1672	4072
大田生活者ネットワーク	ネ ッ ト	1	0	1	5744 - 1673	4076
大田維新の会	維 新	1	1	0	5744 - 1720	4035
合 計		48	36	12		

③議員名簿

議 長 高瀬 三徳 (自 民)

副議長 渡部登志雄 (公 明)

平成22年12月28日現在

会派 略称	議 席 番 号	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
自 民	1	永井 敬臣	144-0044	大田区本羽田一丁目20番3号	3744-8683
自 民	2	田中 一吉	144-0051	大田区西蒲田六丁目10番3号	3735-1650
自 民	3	河津 章夫	145-0074	大田区東嶺町29番4号	3755-8386
自 民	4	水井 達興	144-0052	大田区蒲田一丁目8番14号	3733-2369
自 民	5	海老澤信吉	145-0064	大田区上池台五丁目21番18号	3728-2563
自 民	6	松原 秀典	146-0082	大田区池上七丁目19番22号	3753-1465
自 民	7	高瀬 三徳	143-0026	大田区西馬込二丁目31番3号	3777-1941
自 民	8	安藤 充	144-0043	大田区羽田三丁目1番2号	3744-7038
自 民	9	岸田 哲治	145-0062	大田区北千束一丁目13番3号	3718-0987
自 民	10	大森 昭彦	144-0031	大田区東蒲田一丁目12番16号	3738-4991
自 民	11	松原茂登樹	144-0034	大田区西糀谷二丁目30番17号	3741-6683
自 民	12	伊藤 和弘	143-0016	大田区大森北一丁目14番4号	3768-7068
自 民	13	塩野目正樹	143-0012	大田区大森東五丁目31番6号	3766-5639
自 民	14	鈴木 康文	146-0093	大田区矢口一丁目5番15-101号	3750-8951

会派 略称	議 席 番 号	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
自 民	15	押見 隆太	146-0084	大田区南久が原二丁目5番19-201号	3753-1122
自 民	16	鈴木 隆之	146-0085	大田区久が原五丁目17番27号	5700-5765
自民大田	17	近藤 忠夫	145-0065	大田区東雪谷二丁目7番2号	3727-0912
維 新	18	湯本良太郎	143-0011	大田区大森本町二丁目31番10号	3774-1775
公 明	19	溝口 誠	145-0062	大田区北千束二丁目15番20号	3729-4141
公 明	20	荒川 善夫	144-0045	大田区南六郷一丁目19番1-502号	3737-0619
公 明	21	高橋 博	144-0032	大田区北糀谷二丁目10番8号	3741-0460
公 明	22	飯田 茂	145-0066	大田区南雪谷二丁目9番15号	3720-5389
公 明	23	富田 俊一	144-0033	大田区東糀谷一丁目12番20号	3742-3190
公 明	24	清波 貞子	144-0051	大田区西蒲田三丁目21番3号	3753-3945
公 明	25	古山 昌子	146-0093	大田区矢口三丁目2番16-105号	3758-8178
公 明	26	渡部登志雄	143-0016	大田区大森北三丁目24番16号	3761-2076
公 明	27	松本 洋之	144-0051	大田区西蒲田七丁目48番1-702号	3730-5390
公 明	28	丸山 かよ	143-0015	大田区大森西七丁目2番3号	3761-1424
公 明	29	岡元 由美	143-0023	大田区山王一丁目5番21-201号	6909-9486
公 明	30	勝亦 聡	144-0052	大田区蒲田二丁目9番14号	3737-2763
民 主	31	山崎 勝広	144-0046	大田区東六郷三丁目22番10号	3735-2585
民 主	32	岸田 正	143-0015	大田区大森西五丁目19番13号	5482-2121
民 主	33	都野 圭子	145-0072	大田区田園調布本町41番12号	3722-7442
民 主	34	木村 勝	143-0014	大田区大森中二丁目5番16-208号	6228-0858
	35	欠 番			
民 主	36	黒川 仁	146-0082	大田区池上六丁目2番2-1003号	6712-0775
民 主	37	森 愛	144-0052	大田区蒲田五丁目26番8-307号	5935-7753
無 所 属	38	荒木 秀樹	143-0023	大田区山王三丁目1番13号	3771-4719
日 本	39	犬伏 秀一	144-0045	大田区南六郷三丁目1番1-407号	3744-0111
ネ ッ ト	40	奈須 利江	145-0062	大田区北千束一丁目11番8号	3724-3285
緑	41	野呂 恵子	146-0093	大田区矢口一丁目25番5号-D	3758-2758
区民の会	42	西村健志郎	145-0061	大田区石川町二丁目3番16-414号	5499-2680
共 産	43	佐藤 伸	143-0016	大田区大森北五丁目15番22-201号	3298-6362
共 産	44	清水 菊美	144-0033	大田区東糀谷一丁目13番2-501号	3745-6371
共 産	45	菅谷 郁恵	143-0012	大田区大森東三丁目9番21号	3767-8581
	46	欠 番			
共 産	47	金子 悦子	144-0056	大田区西六郷二丁目16番2号	5711-0350
共 産	48	和田 正子	146-0095	大田区多摩川二丁目24番62-2-209号	3759-6579
共 産	49	藤原 幸雄	144-0034	大田区西糀谷四丁目21番18号	3742-2936
共 産	50	大竹 辰治	146-0094	大田区東矢口三丁目11番19号	3736-4202

(2) 会議

①本会議

定例会の回数は、条例で年4回と定められており、2月、6月、9月、11月に招集される。その他、必要に応じて臨時会が開かれる。

②常任委員会

委員会の名称、定数及び所管は表のとおりである。委員の任期は1年である。

平成22年12月28日現在

名 称	委員定数	所 管
総務財政	10人	経営管理部、会計管理室、選挙管理委員会及び監査委員に関する事並びに他の常任委員会に属しないこと
地域・産業	10人	地域振興部、区民部及び産業経済部に関する事
保健福祉	10人	福祉部及び保健所に関する事
都市・環境	10人 (現員9人)	まちづくり推進部、都市基盤整備部、連続立体事業本部及び環境清掃部に関する事
こども文教	10人 (現員9人)	こども家庭部及び教育委員会に関する事

③議会運営委員会

所属議員が4名以上の会派から4名に1名の割合で選出された委員で構成される。ただし、3名会派についても委員1名を選出できるものとしている。任期は1年である。

平成22年12月28日現在

名 称	委員定数	調 査 事 項
議 会 運 営	13人 (現員9人)	1 議会の運営について 2 議会日程の調整について 3 会議規則、委員会条例等の取扱いについて 4 議長の諮問に関する事項について

④特別委員会

特別委員会はあるとき、議会の議決で設置され、委員の定数も議決で定められる。

平成22年12月28日現在

名 称	委員定数	調 査 事 件
開発・観光対策	12人	1 中心核及び地域核の整備・開発について 2 観光のまち大田づくりについて 3 水と緑のネットワーク整備について
交通問題調査	12人	1 京浜急行連続立体交差事業の推進について 2 交通網整備等に関する対策について
羽田空港対策	11人	1 羽田空港の空港機能について 2 羽田空港の跡地利用について 3 羽田空港周辺及び臨海部（埋立地の帰属問題を除く）に関する事業について
防災・安全対策	11人 (現員9人)	1 防災対策について 2 危機管理対策について 3 地域防犯対策について
予 算 (設置期間) 22.3.1～3.23	議長を除く 全 議 員	1 次年度各会計予算について
決 算 (設置期間) 22.9.17～10.8	議長及び議員 選出監査委員 を除く全議員	1 前年度各会計決算について

⑤委員会所属議員名簿

平成22年5月13日まで

委 員 会		委 員 長	副委員長	委 員
常 任 委 員 会	総務財政 委員会 (定数10人)	湯本良太郎	岡元 由美	水井 達興 河津 章夫 ※大森 昭彦 富田 俊一 都野 圭子 和田 正子 ※藤原 幸雄
	地域・産業 委員会 (定数10人)	渡部登志雄	黒川 仁	※田中 一吉 松原 秀典 ※押見 隆太 近藤 忠夫 清波 貞子 勝亦 聡 荒木 秀樹 ※大竹 辰治
	保健福祉 委員会 (定数10人)	木村 勝	鈴木 隆之	永井 敬臣 鈴木 康文 ※岸田 哲治 荒川 善夫 ※松本 洋之 岸田 正 佐藤 伸 ※金子 悦子
	都市・環境 委員会 (定数10人)	飯田 茂	松原茂登樹	安藤 充 ※伊藤 和弘 古山 昌子 丸山 かよ 森 愛 奈須 利江 西村健志郎 ※清水 菊美
	こども文教 委員会 (定数10人)	塩野目正樹	溝口 誠	高瀬 三徳 ※海老澤信吉 高橋 博 山崎 勝広 犬伏 秀一 野呂 恵子 ※菅谷 郁恵
議会運営委員会 (定数13人)		河津 章夫	清波 貞子	高瀬 三徳 安藤 充 富田 俊一 岡元 由美 木村 勝 和田 正子
特 別 委 員 会	開発・観光対策 特別委員会 (定数12人)	松原 秀典	都野 圭子	高瀬 三徳 ※伊藤 和弘 大森 昭彦 ※松本 洋之 岡元 由美 森 愛 犬伏 秀一 奈須 利江 ※佐藤 伸 大竹 辰治
	交通問題調査 特別委員会 (定数12人)	田中 一吉	荒川 善夫	塩野目正樹 鈴木 康文 ※海老澤信吉 飯田 茂 清波 貞子 山崎 勝広 木村 勝 西村健志郎 ※金子 悦子 藤原 幸雄
	羽田空港対策 特別委員会 (定数11人)	富田 俊一	押見 隆太	※湯本良太郎 安藤 充 鈴木 隆之 溝口 誠 渡部登志雄 黒川 仁 ※清水 菊美 菅谷 郁恵
	防災・安全対策 特別委員会 (定数11人)	岸田 哲治	水井 達興	河津 章夫 松原茂登樹 ※高橋 博 勝亦 聡 岸田 正 荒木 秀樹 野呂 恵子 ※和田 正子

- 1 氏名順は議席番号順
- 2 氏名の前の※印は理事

平成22年5月14日から5月18日まで

委員会		委員長	副委員長	委員
常任委員会	総務財政委員会 (定数10人)	湯本良太郎	岡元 由美	水井 達興 河津 章夫 大森 昭彦 富田 俊一 ※都野 圭子 和田 正子 ※藤原 幸雄
	地域・産業委員会 (定数10人)	渡部登志雄	黒川 仁	※田中 一吉 松原 秀典 ※押見 隆太 近藤 忠夫 清波 貞子 勝亦 聡 荒木 秀樹 ※大竹 辰治
	保健福祉委員会 (定数10人)	木村 勝	鈴木 隆之	永井 敬臣 鈴木 康文 ※岸田 哲治 荒川 善夫 ※松本 洋之 岸田 正 佐藤 伸 ※金子 悦子
	都市・環境委員会 (定数10人)	飯田 茂	松原茂登樹	安藤 充 ※伊藤 和弘 古山 昌子 丸山 かよ 森 愛 奈須 利江 西村健志郎 ※清水 菊美
	こども文教委員会 (定数10人)	塩野目正樹	溝口 誠	高瀬 三徳 ※海老澤信吉 高橋 博 山崎 勝広 犬伏 秀一 野呂 恵子 ※菅谷 郁恵
議会運営委員会 (定数13人)		河津 章夫	清波 貞子	高瀬 三徳 安藤 充 富田 俊一 岡元 由美 木村 勝 和田 正子
特別委員会	開発・観光対策特別委員会 (定数12人)	松原 秀典	都野 圭子	高瀬 三徳 ※伊藤 和弘 大森 昭彦 ※松本 洋之 岡元 由美 森 愛 犬伏 秀一 奈須 利江 ※佐藤 伸 大竹 辰治
	交通問題調査特別委員会 (定数12人)	田中 一吉	荒川 善夫	塩野目正樹 鈴木 康文 ※海老澤信吉 飯田 茂 清波 貞子 山崎 勝広 木村 勝 西村健志郎 ※金子 悦子 藤原 幸雄
	羽田空港対策特別委員会 (定数11人)	富田 俊一	押見 隆太	※湯本良太郎 安藤 充 鈴木 隆之 溝口 誠 渡部登志雄 黒川 仁 ※清水 菊美 菅谷 郁恵
	防災・安全対策特別委員会 (定数11人)	岸田 哲治	水井 達興	河津 章夫 松原茂登樹 ※高橋 博 勝亦 聡 岸田 正 荒木 秀樹 野呂 恵子 ※和田 正子

- 1 氏名順は議席番号順
- 2 氏名の前の※印は理事

平成22年5月19日から5月25日まで

委員会		委員長	副委員長	委員
常任委員会	総務財政委員会 (定数10人)	湯本良太郎	岡元 由美	水井 達興 河津 章夫 大森 昭彦 富田 俊一 ※都野 圭子 和田 正子 ※藤原 幸雄
	地域・産業委員会 (定数10人)	渡部登志雄	黒川 仁	※田中 一吉 松原 秀典 ※押見 隆太 近藤 忠夫 清波 貞子 勝亦 聡 荒木 秀樹 ※大竹 辰治
	保健福祉委員会 (定数10人)	木村 勝	鈴木 隆之	永井 敬臣 鈴木 康文 ※岸田 哲治 荒川 善夫 ※松本 洋之 岸田 正 佐藤 伸 ※金子 悦子
	都市・環境委員会 (定数10人)	飯田 茂	松原茂登樹	安藤 充 ※伊藤 和弘 古山 昌子 丸山 かよ 森 愛 奈須 利江 西村健志郎 ※清水 菊美
	こども文教委員会 (定数10人)	塩野目正樹	溝口 誠	高瀬 三徳 ※海老澤信吉 高橋 博 山崎 勝広 犬伏 秀一 野呂 恵子 ※菅谷 郁恵
議会運営委員会 (定数13人)		河津 章夫	清波 貞子	高瀬 三徳 安藤 充 富田 俊一 岡元 由美 木村 勝 和田 正子
特別委員会	開発・観光対策特別委員会 (定数12人)	松原 秀典	都野 圭子	高瀬 三徳 ※伊藤 和弘 大森 昭彦 ※松本 洋之 岡元 由美 森 愛 犬伏 秀一 奈須 利江 ※佐藤 伸 大竹 辰治
	交通問題調査特別委員会 (定数12人)	田中 一吉	荒川 善夫	塩野目正樹 鈴木 康文 海老澤信吉 飯田 茂 清波 貞子 ※山崎 勝広 木村 勝 西村健志郎 ※金子 悦子 藤原 幸雄
	羽田空港対策特別委員会 (定数11人)	富田 俊一	押見 隆太	※湯本良太郎 安藤 充 鈴木 隆之 溝口 誠 渡部登志雄 黒川 仁 ※清水 菊美 菅谷 郁恵
	防災・安全対策特別委員会 (定数11人)	岸田 哲治	水井 達興	河津 章夫 松原茂登樹 ※高橋 博 勝亦 聡 岸田 正 荒木 秀樹 野呂 恵子 ※和田 正子

- 1 氏名順は議席番号順
- 2 氏名の前の※印は理事

平成22年5月25日から6月7日まで

委員会		委員長	副委員長	委員		
常任委員会	総務財政委員会 (定数10人)	水井 達興	丸山 かよ	安藤 充 鈴木 隆之 菅谷 郁恵	松原茂登樹 古山 昌子 大竹 辰治	塩野目正樹 木村 勝
	地域・産業委員会 (定数10人)	飯田 茂	海老澤信吉	河津 章夫 高橋 博 西村健志郎	近藤 忠夫 黒川 仁 佐藤 伸	荒川 善夫 荒木 秀樹
	保健福祉委員会 (定数10人)	山崎 勝広	押見 隆太	高瀬 三徳 岡元 由美 金子 悦子	鈴木 康文 森 愛 藤原 幸雄	富田 俊一 犬伏 秀一
	都市・環境委員会 (定数10人)	松本 洋之	松原 秀典	永井 敬臣 渡部登志雄 清水 菊美	伊藤 和弘 岸田 正	溝口 誠 奈須 利江
	こども文教委員会 (定数10人)	大森 昭彦	勝亦 聡	田中 一吉 清波 貞子 和田 正子	岸田 哲治 都野 圭子	湯本良太郎 野呂 恵子
議会運営委員会 (定数13人)		松原茂登樹	高橋 博	安藤 充 古山 昌子 大竹 辰治	岸田 哲治 丸山 かよ	伊藤 和弘 木村 勝
特別委員会	開発・観光対策特別委員会 (定数12人)	伊藤 和弘	黒川 仁	河津 章夫 高橋 博 犬伏 秀一 大竹 辰治	押見 隆太 丸山 かよ 奈須 利江	鈴木 隆之 森 愛 佐藤 伸
	交通問題調査特別委員会 (定数12人)	古山 昌子	岸田 哲治	水井 達興 松本 洋之 木村 勝 藤原 幸雄	松原 秀典 勝亦 聡 西村健志郎	大森 昭彦 都野 圭子 和田 正子
	羽田空港対策特別委員会 (定数11人)	永井 敬臣	富田 俊一	安藤 充 湯本良太郎 山崎 勝広	松原茂登樹 荒川 善夫 清水 菊美	塩野目正樹 岡元 由美 菅谷 郁恵
	防災・安全対策特別委員会 (定数11人)	鈴木 康文	岸田 正	田中 一吉 清波 貞子 金子 悦子	海老澤信吉 荒木 秀樹	飯田 茂 野呂 恵子

1 氏名順は議席番号順

平成22年6月8日から6月10日まで

委員会		委員長	副委員長	委員		
常任委員会	総務財政委員会 (定数10人)	水井 達興	丸山 かよ	安藤 充 鈴木 隆之 ※菅谷 郁恵	松原茂登樹 古山 昌子 大竹 辰治	塩野目正樹 ※木村 勝
	地域・産業委員会 (定数10人)	飯田 茂	海老澤信吉	河津 章夫 高橋 博 西村健志郎	近藤 忠夫 ※黒川 仁 ※佐藤 伸	荒川 善夫 荒木 秀樹
	保健福祉委員会 (定数10人)	山崎 勝広	押見 隆太	高瀬 三徳 ※岡元 由美 ※金子 悦子	鈴木 康文 森 愛 藤原 幸雄	富田 俊一 犬伏 秀一
	都市・環境委員会 (定数10人)	松本 洋之	松原 秀典	永井 敬臣 渡部登志雄 ※清水 菊美	伊藤 和弘 ※岸田 正	溝口 誠 奈須 利江
	こども文教委員会 (定数10人)	大森 昭彦	勝亦 聡	田中 一吉 清波 貞子 ※和田 正子	岸田 哲治 ※都野 圭子	湯本良太郎 野呂 恵子
議会運営委員会 (定数13人)		松原茂登樹	高橋 博	安藤 充 古山 昌子 大竹 辰治	岸田 哲治 丸山 かよ	伊藤 和弘 木村 勝
特別委員会	開発・観光対策特別委員会 (定数12人)	伊藤 和弘	黒川 仁	河津 章夫 高橋 博 犬伏 秀一 大竹 辰治	押見 隆太 丸山 かよ 奈須 利江	鈴木 隆之 森 愛 佐藤 伸
	交通問題調査特別委員会 (定数12人)	古山 昌子	岸田 哲治	水井 達興 松本 洋之 木村 勝 藤原 幸雄	松原 秀典 勝亦 聡 西村健志郎	大森 昭彦 都野 圭子 和田 正子
	羽田空港対策特別委員会 (定数11人)	永井 敬臣	富田 俊一	安藤 充 湯本良太郎 山崎 勝広	松原茂登樹 荒川 善夫 清水 菊美	塩野目正樹 岡元 由美 菅谷 郁恵
	防災・安全対策特別委員会 (定数11人)	鈴木 康文	岸田 正	田中 一吉 清波 貞子 金子 悦子	海老澤信吉 荒木 秀樹	飯田 茂 野呂 恵子

- 1 氏名順は議席番号順
- 2 氏名の前の※印は理事

平成22年6月11日から11月7日まで

委員会		委員長	副委員長	委員		
常任委員会	総務財政委員会 (定数10人)	水井 達興	丸山 かよ	安藤 充 鈴木 隆之 ※菅谷 郁恵	松原茂登樹 古山 昌子 大竹 辰治	塩野目正樹 ※木村 勝
	地域・産業委員会 (定数10人)	飯田 茂	海老澤信吉	河津 章夫 高橋 博 西村健志郎	近藤 忠夫 ※黒川 仁 ※佐藤 伸	荒川 善夫 荒木 秀樹
	保健福祉委員会 (定数10人)	山崎 勝広	押見 隆太	高瀬 三徳 ※岡元 由美 ※金子 悦子	鈴木 康文 森 愛 藤原 幸雄	富田 俊一 犬伏 秀一
	都市・環境委員会 (定数10人)	松本 洋之	松原 秀典	永井 敬臣 渡部登志雄 ※清水 菊美	伊藤 和弘 ※岸田 正	溝口 誠 奈須 利江
	こども文教委員会 (定数10人)	大森 昭彦	勝亦 聡	田中 一吉 清波 貞子 ※和田 正子	岸田 哲治 ※都野 圭子	湯本良太郎 野呂 恵子
議会運営委員会 (定数13人)		松原茂登樹	高橋 博	安藤 充 古山 昌子 大竹 辰治	岸田 哲治 丸山 かよ	伊藤 和弘 木村 勝
特別委員会	開発・観光対策特別委員会 (定数12人)	伊藤 和弘	黒川 仁	河津 章夫 ※高橋 博 犬伏 秀一 大竹 辰治	押見 隆太 丸山 かよ 奈須 利江	鈴木 隆之 森 愛 ※佐藤 伸
	交通問題調査特別委員会 (定数12人)	古山 昌子	岸田 哲治	水井 達興 松本 洋之 木村 勝 ※藤原 幸雄	松原 秀典 勝亦 聡 西村健志郎	大森 昭彦 ※都野 圭子 和田 正子
	羽田空港対策特別委員会 (定数11人)	永井 敬臣	富田 俊一	安藤 充 湯本良太郎 ※山崎 勝広	松原茂登樹 荒川 善夫 ※清水 菊美	塩野目正樹 岡元 由美 菅谷 郁恵
	防災・安全対策特別委員会 (定数11人)	鈴木 康文	岸田 正	田中 一吉 ※清波 貞子 ※金子 悦子	海老澤信吉 荒木 秀樹	飯田 茂 野呂 恵子

- 1 氏名順は議席番号順
- 2 氏名の前の※印は理事

平成22年11月8日から11月15日まで

委員会		委員長	副委員長	委員		
常任委員会	総務財政委員会 (定数10人)	水井 達興	丸山 かよ	安藤 充 鈴木 隆之 ※菅谷 郁恵	松原茂登樹 古山 昌子 大竹 辰治	塩野目正樹 ※木村 勝
	地域・産業委員会 (定数10人)	飯田 茂	海老澤信吉	河津 章夫 高橋 博 西村健志郎	近藤 忠夫 ※黒川 仁 ※佐藤 伸	荒川 善夫 荒木 秀樹
	保健福祉委員会 (定数10人)	山崎 勝広	押見 隆太	高瀬 三徳 ※岡元 由美 ※金子 悦子	鈴木 康文 森 愛 藤原 幸雄	富田 俊一 犬伏 秀一
	都市・環境委員会 (定数10人)	松本 洋之	松原 秀典	永井 敬臣 渡部登志雄 ※清水 菊美	伊藤 和弘 ※岸田 正	溝口 誠 奈須 利江
	こども文教委員会 (定数10人)	大森 昭彦	勝亦 聡	田中 一吉 清波 貞子 ※和田 正子	岸田 哲治 ※都野 圭子	湯本良太郎 野呂 恵子
議会運営委員会 (定数13人)			高橋 博	安藤 充 丸山 かよ	伊藤 和弘 木村 勝	古山 昌子 大竹 辰治
特別委員会	開発・観光対策特別委員会 (定数12人)	伊藤 和弘	黒川 仁	河津 章夫 ※高橋 博 犬伏 秀一 大竹 辰治	押見 隆太 丸山 かよ 奈須 利江	鈴木 隆之 森 愛 ※佐藤 伸
	交通問題調査特別委員会 (定数12人)	古山 昌子	岸田 哲治	水井 達興 松本 洋之 木村 勝 ※藤原 幸雄	松原 秀典 勝亦 聡 西村健志郎	大森 昭彦 ※都野 圭子 和田 正子
	羽田空港対策特別委員会 (定数11人)	永井 敬臣	富田 俊一	安藤 充 湯本良太郎 ※山崎 勝広	松原茂登樹 荒川 善夫 ※清水 菊美	塩野目正樹 岡元 由美 菅谷 郁恵
	防災・安全対策特別委員会 (定数11人)	鈴木 康文	岸田 正	田中 一吉 ※清波 貞子 ※金子 悦子	海老澤信吉 荒木 秀樹	飯田 茂 野呂 恵子

- 1 氏名順は議席番号順
- 2 氏名の前の※印は理事

平成22年11月16日から12月28日まで

委員会		委員長	副委員長	委員		
常任委員会	総務財政委員会 (定数10人)	水井 達興	丸山 かよ	安藤 充 鈴木 隆之 ※菅谷 郁恵	松原茂登樹 古山 昌子 大竹 辰治	塩野目正樹 ※木村 勝
	地域・産業委員会 (定数10人)	飯田 茂	海老澤信吉	河津 章夫 高橋 博 西村健志郎	近藤 忠夫 ※黒川 仁 ※佐藤 伸	荒川 善夫 荒木 秀樹
	保健福祉委員会 (定数10人)	山崎 勝広	押見 隆太	高瀬 三徳 ※岡元 由美 ※金子 悦子	鈴木 康文 森 愛 藤原 幸雄	富田 俊一 犬伏 秀一
	都市・環境委員会 (定数10人)	松本 洋之	松原 秀典	永井 敬臣 渡部登志雄 ※清水 菊美	伊藤 和弘 ※岸田 正	溝口 誠 奈須 利江
	こども文教委員会 (定数10人)	大森 昭彦	勝亦 聡	田中 一吉 清波 貞子 ※和田 正子	岸田 哲治 ※都野 圭子	湯本良太郎 野呂 恵子
議会運営委員会 (定数13人)		松原茂登樹	高橋 博	安藤 充 古山 昌子 大竹 辰治	岸田 哲治 丸山 かよ	伊藤 和弘 木村 勝
特別委員会	開発・観光対策特別委員会 (定数12人)	伊藤 和弘	黒川 仁	河津 章夫 ※高橋 博 犬伏 秀一 大竹 辰治	押見 隆太 丸山 かよ 奈須 利江	鈴木 隆之 森 愛 ※佐藤 伸
	交通問題調査特別委員会 (定数12人)	古山 昌子	岸田 哲治	水井 達興 松本 洋之 木村 勝 ※藤原 幸雄	松原 秀典 勝亦 聡 西村健志郎	大森 昭彦 ※都野 圭子 和田 正子
	羽田空港対策特別委員会 (定数11人)	永井 敬臣	富田 俊一	安藤 充 湯本良太郎 ※山崎 勝広	松原茂登樹 荒川 善夫 ※清水 菊美	塩野目正樹 岡元 由美 菅谷 郁恵
	防災・安全対策特別委員会 (定数11人)	鈴木 康文	岸田 正	田中 一吉 ※清波 貞子 ※金子 悦子	海老澤信吉 荒木 秀樹	飯田 茂 野呂 恵子

- 1 氏名順は議席番号順
- 2 氏名の前の※印は理事

委 員 会		委 員 長	副委員長	委 員
特 別 委 員 会	予算特別委員会 設置期間 22. 3. 1～3. 23	松本 洋之	高瀬 三徳	議長を除く全議員（委員名は省略）
	決算特別委員会 設置期間 22. 9. 17～10. 8	田中 一吉	岡元 由美	議長及び議員選出監査委員を除く全議員（委員名は省略）

2 議会活動

(1) 本会議

① 定例会

定例会	期 間	会期	開催日数
第1回	2月22日～3月25日	32日	5日
第2回	6月4日～6月15日	12日	3日
第3回	9月16日～10月13日	28日	4日
第4回	11月25日～12月6日	12日	3日

② 臨時会

臨時会	期 間	会期	開催日数
第1回	3月29日	1日	1日
第2回	5月25日	1日	1日

(2) 常任委員会・特別委員会開催回数

委員会		月												計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
常任委員会	総務財政	1	1	3	1	3	2	1	1	3	0	4	0	20
	地域・産業	2	1	4	1	2	2	1	1	3	2	2	1	22
	保健福祉	1	1	3	1	2	2	2	1	3	0	4	1	21
	都市・環境	1	1	3	1	3	2	1	1	3	2	3	1	22
	こども文教	1	1	3	1	2	2	2	1	3	1	3	1	21
	小計	6	5	16	5	12	10	7	5	15	5	16	4	106
議会運営委員会		0	3	6	0	6	3	0	0	5	2	3	3	31
特別委員会	開発・観光対策	1	1	2	1	2	1	1	1	2	1	1	1	15
	交通問題調査	1	1	1	4	4	1	2	1	1	1	1	1	19
	羽田空港対策	1	0	2	1	2	2	1	2	1	2	0	2	16
	防災・安全対策	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	0	1	12
	予算	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	決算	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	0	0	8
小計		4	3	16	7	10	5	5	5	7	11	2	5	80
合 計		10	11	38	12	28	18	12	10	27	18	21	12	217

(3) その他の会議開催回数

会議	月												計	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
合同委員長会	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

(4) 種類別議決件数

①議案、事件

種 別	件数	種 別	件数
条例	47	答申	1
規則	0	報告（承認を必要とするもの）	2
予算	17	協議	1
決算	5	指定管理者の指定	10
契約	18	購入	5
財産	0	損害賠償額の決定	0
負担付寄付、贈与の受領	0	事務の委託、受託	1
意見の陳述	2	新たに生じた土地の確認	1
訴えの提起、和解	6	住居表示の方法	1
特別区道路線の認定、廃止	1	町区域の設定、廃止、変更	1
公の施設の廃止	0	決議、意見書の提出	4
土地の取得、処分	2	議案の撤回	1
同意	3	議員提出事件（除中間報告）	18
合 計			147

②選挙

種 別	件数
選挙	2

③報告、事件

種 別	件数
報告（報告のみのもの）	25
議員提出事件（中間報告）	4

④請願・陳情

結 果	請 願	陳 情
採 択	1	6
不 採 択	4	16
取 下	0	3
審議未了	0	0
継 続	1	105
合 計	6	130

(5) 議決事項一覧表

①区長提出議案 (116件)

会議名	番号	件名	議決年月日	議決内容	反対会派	付託委員会
第1回定例会	1	平成22年度大田区一般会計予算	22. 3. 25	原案可決	共産、緑、区民の会	予算特別
	2	平成22年度大田区国民健康保険事業特別会計予算	22. 3. 25	原案可決	共産、緑、区民の会	予算特別
	3	平成22年度大田区老人保健医療特別会計予算	22. 3. 25	原案可決	共産	予算特別
	4	平成22年度大田区後期高齢者医療特別会計予算	22. 3. 25	原案可決	共産、緑、区民の会	予算特別
	5	平成22年度大田区介護保険特別会計予算	22. 3. 25	原案可決	共産、区民の会	予算特別
	6	平成21年度大田区一般会計補正予算(第4次)	22. 3. 9	原案可決	共産、区民の会、ネット	総務財政
	7	平成21年度大田区国民健康保険事業特別会計補正予算(第2次)	22. 3. 9	原案可決		総務財政
	8	平成21年度大田区老人保健医療特別会計補正予算(第2次)	22. 3. 9	原案可決		総務財政
	9	平成21年度大田区後期高齢者医療特別会計補正予算(第2次)	22. 3. 9	原案可決	共産、緑	総務財政
	10	平成21年度大田区介護保険特別会計補正予算(第2次)	22. 3. 9	原案可決		総務財政
	11	大田区職員定数条例の一部を改正する条例	22. 3. 9	原案可決	共産、緑	総務財政
	12	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	22. 3. 9	原案可決		総務財政
	13	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	22. 3. 9	原案可決		総務財政
	14	職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	22. 3. 9	原案可決		総務財政
	15	大田区積立基金条例の一部を改正する条例	22. 3. 9	原案可決	共産、緑	総務財政
	16	大田区議会における政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例	22. 3. 9	原案可決		総務財政
	17	財団法人大田区文化振興協会に対する助成に関する条例の一部を改正する条例	22. 3. 9	原案可決		地域・産業

会議名	番号	件名	議決 年月日	議決内容	反対会派	付託 委員会
第1回 定例会	18	大田区国民健康保険高額療養費資金貸付基金条例の一部を改正する条例	22. 3. 9	原案可決		地域・産業
	19	大田区住宅修築資金融資基金条例の一部を改正する条例	22. 3. 9	原案可決	ネット	都市・環境
	20	大田区特別区道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例	22. 3. 9	原案可決		都市・環境
	21	大田区公共物管理条例の一部を改正する条例	22. 3. 9	原案可決		都市・環境
	22	大田区立公園条例の一部を改正する条例	22. 3. 9	原案可決	共産、区民の会	都市・環境
	23	大田区立下水道関連施設公園等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	22. 3. 9	原案可決	区民の会	都市・環境
	24	大田区立多摩川田園調布緑地条例の一部を改正する条例	22. 3. 9	原案可決	区民の会	都市・環境
	25	大田スタジアム条例の一部を改正する条例	22. 3. 9	原案可決	区民の会	都市・環境
	26	大田区環境基本条例	22. 3. 9	原案可決		都市・環境
	27	大田区立児童館条例の一部を改正する条例	22. 3. 9	原案可決	共産、区民の会	こども文教
	28	大田区総合体育館条例	22. 3. 9	原案可決	区民の会	こども文教
	29	土地の取得について	22. 3. 9	原案可決	区民の会、改革、ネット	総務財政
	30	小学校電子黒板の購入について	22. 3. 9	原案可決	区民の会	総務財政
	31	中学校電子黒板の購入について	22. 3. 9	原案可決	区民の会	総務財政
	32	理科教材の購入（小学校）について	22. 3. 9	原案可決	区民の会	総務財政
	33	理科教材の購入（中学校）について	22. 3. 9	原案可決	区民の会	総務財政
	34	東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約に関する協議について	22. 3. 9	同意	共産、緑、区民の会	地域・産業
	35	東京都後期高齢者医療広域連合葬祭費事務の受託について	22. 3. 9	原案可決	共産、区民の会	地域・産業
36	大田区立知的障害者援護施設の指定管理者の指定について	22. 3. 9	原案可決	区民の会	保健福祉	

会議名	番号	件名	議決 年月日	議決内容	反対会派	付託 委員会
第1回 定例会	37	区営住宅使用料等の支払請求に係る訴え提起前の和解について	22. 3. 9	原案可決		都市・環境
	38	大田区長等の給料の特例に関する条例	22. 3. 9	原案可決	改革	総務財政
第1回 臨時会	39	大田区国民健康保険条例の一部を改正する条例	22. 3. 29	原案可決	共産、緑、区民の会	地域・産業
第2回 臨時会	40	小型プレス車3台の購入について	22. 5. 25	原案可決	ネット	総務財政
第2回 定例会	41	平成22年度大田区一般会計補正予算(第1次)	22. 6. 15	原案可決	緑、区民の会、ネット	総務財政
	42	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	22. 6. 15	原案可決		総務財政
	43	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	22. 6. 15	原案可決		総務財政
	44	職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	22. 6. 15	原案可決		総務財政
	45	大田区多文化共生推進センター条例	22. 6. 15	原案可決	共産、緑、区民の会、ネット	地域・産業
	46	大田区区民活動支援施設条例の一部を改正する条例	22. 6. 15	原案可決	共産、緑、区民の会、ネット	地域・産業
	47	大田区特別出張所設置条例の一部を改正する条例	22. 6. 15	原案可決		地域・産業
	48	大田区特別区税条例の一部を改正する条例	22. 6. 15	原案可決	共産、緑、区民の会	地域・産業
	49	大田区国民健康保険条例の一部を改正する条例	22. 6. 15	原案可決		地域・産業
	50	大田区立保育園条例の一部を改正する条例	22. 6. 15	原案可決		こども文教
	51	大田区立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例	22. 6. 15	原案可決		こども文教
	52	土地の取得について	22. 6. 15	原案可決	ネット(退席:改革)	総務財政
	53	包括外部監査契約の締結について	22. 6. 15	原案可決	区民の会	総務財政

会議名	番号	件名	議決 年月日	議決内容	反対会派	付託 委員会
第2回 定例会	54	大田区田園調布三丁目付近管渠整備その2工事(下水道)請負契約について	22. 6. 15	原案可決	区民の会(退席:改革)	総務財政
	55	大田区田園調布一丁目付近枝線その14工事(下水道)請負契約について	22. 6. 15	原案可決	区民の会(退席:改革)	総務財政
	56	仮称大田区大森西四丁目区営住宅(その2)新築工事請負契約について	22. 6. 15	原案可決	区民の会(退席:自民大田、改革)	総務財政
	57	大田区萩中集会所改築工事請負契約について	22. 6. 15	原案可決	区民の会(退席:改革)	総務財政
	58	(仮称)大森北一丁目開発区活用部分内装等工事(C工事)請負契約について	22. 6. 15	原案可決	区民の会	総務財政
	59	大田区立みどり保育園及び大田区営西六郷三丁目アパート1号棟耐震補強その他工事請負契約について	22. 6. 15	原案可決	区民の会(退席:改革)	総務財政
	60	大田区萩中集会所改築機械設備工事請負契約について	22. 6. 15	原案可決	区民の会(退席:改革)	総務財政
	61	大田区大森東特別出張所改築工事請負契約の変更について	22. 6. 15	原案可決	区民の会、ネット(退席:改革)	総務財政
	62	土地の収用に係る和解について	22. 6. 15	原案可決		都市・環境
第3回 定例会	63	平成21年度大田区一般会計歳入歳出決算	22. 10. 13	認定	共産、緑、区民の会、ネット、維新	決算特別
	64	平成21年度大田区国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	22. 10. 13	認定	共産	決算特別
	65	平成21年度大田区老人保健医療特別会計歳入歳出決算	22. 10. 13	認定	共産	決算特別
	66	平成21年度大田区後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	22. 10. 13	認定	共産、緑、区民の会	決算特別
	67	平成21年度大田区介護保険特別会計歳入歳出決算	22. 10. 13	認定	共産	決算特別
	68	平成22年度大田区一般会計補正予算(第2次)	22. 9. 29	原案可決	共産、区民の会	総務財政
	69	平成22年度大田区国民健康保険事業特別会計補正予算(第1次)	22. 9. 29	原案可決	共産	総務財政

会議名	番号	件名	議決 年月日	議決内容	反対会派	付託 委員会
第3回 定例会	70	平成22年度大田区老人保健医療特別会計補正予算(第1次)	22. 9. 29	原案可決		総務財政
	71	平成22年度大田区介護保険特別会計補正予算(第1次)	22. 9. 29	原案可決		総務財政
	72	大田区特別出張所設置条例の一部を改正する条例	22. 9. 29	原案可決		地域・産業
	73	大田区立知的障害者援護施設等条例の一部を改正する条例	22. 9. 29	原案可決	緑、区民の会	保健福祉
	74	大田区立新蒲田福祉センター条例の一部を改正する条例	22. 9. 29	原案可決	緑、区民の会	保健福祉
	75	大田区立上池台障害者福祉会館条例の一部を改正する条例	22. 9. 29	原案可決	緑、区民の会	保健福祉
	76	大田区立図書館設置条例の一部を改正する条例	22. 9. 29	原案可決		こども文教
	77	大森東避難橋耐震整備工事(建-41)請負契約について	22. 9. 29	原案可決	区民の会	総務財政
	78	大田区鶴の木特別出張所改築及び仮称新鶴の木保育園新築工事請負契約について	22. 9. 29	原案可決	区民の会、日本(退席:ネット)	総務財政
	79	大田区大森清掃事務所改築工事請負契約について	22. 9. 29	原案可決	区民の会、日本(退席:ネット)	総務財政
	80	大田区立羽田中学校プール改築並びに体育館及び校舎(棟番号⑩)取りこわし工事請負契約について	22. 9. 29	原案可決	区民の会、日本(退席:ネット)	総務財政
	81	大田区デジタル防災行政無線設備工事(基幹設備)請負契約について	22. 9. 29	原案可決	区民の会	総務財政
	82	公有水面の埋立てに関する意見の陳述について	22. 9. 29	撤回	日本	都市・環境
	83	区営住宅使用料の支払請求に係る訴え提起前の和解について	22. 9. 29	原案可決		都市・環境
	84	公有水面の埋立てに関する意見の陳述について	22. 10. 13	原案可決		都市・環境
	85	あらたに生じた土地の確認について	22. 10. 13	原案可決		地域・産業
86	あらたに加える市街地の区域及び当該区域における住居表示の方法について	22. 10. 13	原案可決		地域・産業	

会議名	番号	件名	議決 年月日	議決内容	反対会派	付託 委員会
第4回 定例会	87	平成22年度大田区一般会計補正予算(第3次)	22.12.6	原案可決	区民の会、維新	総務財政
	88	平成22年度大田区介護保険特別会計補正予算(第2次)	22.12.6	原案可決		総務財政
	89	大田区特別出張所設置条例の一部を改正する条例	22.12.6	原案可決		地域・産業
	90	大田区特別出張所付属施設条例の一部を改正する条例	22.12.6	原案可決	区民の会	地域・産業
	91	大田区立心身障害児通所施設条例の一部を改正する条例	22.12.6	原案可決		こども文教
	92	地域力を生かした大田区まちづくり条例	22.12.6	原案可決	共産、区民の会	都市・環境
	93	大田区立公園条例の一部を改正する条例	22.12.6	原案可決		都市・環境
	94	仲之橋架替工事(建-32)請負契約について	22.12.6	原案可決	区民の会(退席:日本、ネット)	総務財政
	95	大田区立入新井保育園改築工事請負契約について	22.12.6	原案可決	区民の会(退席:日本、ネット)	総務財政
	96	大田区役所本庁舎火災報知設備交換その他工事請負契約について	22.12.6	原案可決	区民の会(退席:日本、ネット)	総務財政
	97	大田区立羽田中学校校舎取りこわし工事請負契約について	22.12.6	原案可決	区民の会、日本(退席:ネット)	総務財政
	98	大田区立男女平等推進センターの指定管理者の指定について	22.12.6	原案可決	(退席:日本)	総務財政
	99	町区域の変更について	22.12.6	原案可決		地域・産業
	100	大田区立おおもり園の指定管理者の指定について	22.12.6	原案可決	共産(退席:日本)	保健福祉
	101	大田区立特別養護老人ホームの指定管理者の指定について	22.12.6	原案可決	共産(退席:日本)	保健福祉
	102	大田区立高齢者在宅サービスセンターの指定管理者の指定について	22.12.6	原案可決	共産(退席:日本)	保健福祉
	103	大田区立つばさホーム前の浦の指定管理者の指定について	22.12.6	原案可決	共産(退席:日本)	保健福祉
104	大田区立知的障害者援護施設の指定管理者の指定について	22.12.6	原案可決	共産(退席:日本)	保健福祉	
105	大田区立前の浦集会室の指定管理者の指定について	22.12.6	原案可決	共産(退席:日本)	保健福祉	

会議名	番号	件名	議決 年月日	議決内容	反対会派	付託 委員会
第4回 定例会	106	特別区道路線の認定について	22.12.6	原案可決	共産	都市・環境
	107	区営住宅使用料等の支払請求に係る訴え提起前の和解について	22.12.6	原案可決		都市・環境
	108	区民住宅使用料等の支払請求に係る訴え提起前の和解について	22.12.6	原案可決		都市・環境
	109	区民住宅使用料等の支払請求に係る訴え提起前の和解について	22.12.6	原案可決		都市・環境
	110	大田区立母子生活支援施設の指定管理者の指定について	22.12.6	原案可決	維新(退席:日本)	こども文教
	111	大田区立入新井図書館の指定管理者の指定について	22.12.6	原案可決	共産、緑、区民の会、ネット(退席:日本)	こども文教
	112	大田区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例	22.11.26	原案可決		総務財政
	113	大田区監査委員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	22.11.26	原案可決		総務財政
	114	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	22.12.6	原案可決	共産、維新	総務財政
	115	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	22.11.26	原案可決	共産、区民の会	総務財政
	116	大田区教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	22.11.26	原案可決		総務財政

②議員提出議案（3件）

会議名	番号	件名	議決年月日	議決内容	反対会派	付託委員会
第3回定例会	1	大田区議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	22. 9. 16	原案可決		
第4回定例会	2	大田区高齢者の医療費の助成に関する条例	22. 12. 6	原案否決	自民、公明、民主、緑、自民大田、無所属、日本、ネット、維新	保健福祉
	3	子ども手当の全額国費負担を求める意見書	22. 12. 6	原案可決	(退席：民主1、日本)	

③委員会提出議案（3件）

会議名	番号	件名	議決年月日	議決内容	反対会派
第3回定例会	1	東京都住宅供給公社一般賃貸住宅における家賃改定に関する意見書	22. 9. 29	原案可決	
	2	東京国際空港周辺部の道路交通対策に関する意見書	22. 10. 13	原案可決	
	3	東京国際空港A滑走路北側離陸左旋回の早期廃止を求める意見書	22. 10. 13	原案可決	

④議員提出事件（22件）

会議名	件名	議決年月日	備考
第1回定例会	会期の決定について	22. 2. 22	可決
	予算特別委員会の設置について	22. 3. 1	可決
	予算特別委員の指名	22. 3. 1	選任
第1回臨時会	会期の決定について	22. 3. 29	可決
第2回臨時会	議席番号の一部変更について	22. 5. 25	可決
	会期の決定について	22. 5. 25	可決
	開発・観光対策特別委員会中間報告	22. 5. 25	報告
	交通問題調査特別委員会中間報告	22. 5. 25	報告
	羽田空港対策特別委員会中間報告	22. 5. 25	報告
	防災・安全対策特別委員会中間報告	22. 5. 25	報告
	議長の辞職許可について	22. 5. 25	可決
	副議長の辞職許可について	22. 5. 25	可決
	常任委員会、議会運営委員会委員の選任	22. 5. 25	選任
	特別委員会委員の選任	22. 5. 25	選任

会議名	件名	議決 年月日	備考
第2回 定例会	会期の決定について	22. 6. 4	可決
	議員表彰	22. 6. 7	可決
第3回 定例会	議席番号の一部変更について	22. 9. 16	可決
	会期の決定について	22. 9. 16	可決
	決算特別委員会の設置	22. 9. 17	可決
	決算特別委員の指名	22. 9. 17	選任
	大連市親善訪問に伴う議員の派遣について	22. 9. 29	可決
第4回 定例会	会期の決定について	22. 11. 25	可決

⑤選挙（2件）

会議名	件名	議決 年月日	備考
第2回 臨時会	議長選挙	22. 5. 25	高瀬 三徳議員 当選
	副議長選挙	22. 5. 25	渡部登志雄議員 当選

⑥同意（3件）

会議名	件名	議決 年月日	備考
第1回 定例会	監査委員	22. 3. 25	遠藤 久 同意
第2回 臨時会	議員選出監査委員	22. 5. 25	溝口 誠議員 同意
第3回 定例会	教育委員会委員	22. 10. 13	鈴木 清子 同意

⑦答申（1件）

会議名	件名	議決 年月日	備考
第2回 定例会	人権擁護委員候補者の推薦について	22. 6. 15	日野 春代 上記の区長推薦候補者 のとおりで異議なし

⑧報告（27件）

会議名	番号	件名	議決(報告) 年月日	議決内容	付託 委員会
第1回 定例会	1	区が当事者である和解に係る専決処分の報告について	22. 3. 1	報告	なし
	2	区の義務に属する損害賠償額決定に係る専決処分の報告について	22. 3. 1	報告	なし
	3	仮称大田区総合体育館改築工事請負契約の専決処分の報告について	22. 3. 1	報告	なし
	4	大田区立矢口小学校プール改築その他工事請負契約の専決処分の報告について	22. 3. 1	報告	なし
第2回 臨時会	5	土地の収用に係る和解の専決処分の承認について	22. 5. 25	承認	交通問題調査
	6	区が当事者である訴訟上の和解に係る専決処分の報告について	22. 5. 25	報告	なし
	7	区の義務に属する損害賠償額決定に係る専決処分の報告について	22. 5. 25	報告	なし
	8	大田区田園調布一丁目付近枝線その13工事(下水道)請負契約の専決処分の報告について	22. 5. 25	報告	なし
	9	大田区田園調布二丁目付近枝線その17工事(下水道)請負契約の専決処分の報告について	22. 5. 25	報告	なし
	10	仮称東糀谷四丁目公園造成工事その1請負契約の専決処分の報告について	22. 5. 25	報告	なし
第2回 定例会	11	平成21年度大田区繰越明許費繰越計算書	22. 6. 7	報告	なし
	12	平成21年度大田区事故繰越し繰越計算書	22. 6. 7	報告	なし
	13	大田区土地開発公社の経営状況に関する書類の提出について	22. 6. 7	報告	なし
	14	公益財団法人大田区文化振興協会の経営状況に関する書類の提出について	22. 6. 7	報告	なし
	15	財団法人大田区産業振興協会の経営状況に関する書類の提出について	22. 6. 7	報告	なし
	16	蒲田開発事業株式会社の経営状況に関する書類の提出について	22. 6. 7	報告	なし
	17	財団法人大田区体育協会の経営状況に関する書類の提出について	22. 6. 7	報告	なし

会議名	番号	件名	議決(報告) 年月日	議決内容	付託 委員会
第3回 定例会	18	土地の収用に係る和解の専決処分の承認 について	22. 9. 29	承認	交通問題調査
	19	平成21年度健全化判断比率の状況について	22. 9. 17	報告	なし
	20	区の義務に属する損害賠償額決定に係る 専決処分の報告について	22. 9. 17	報告	なし
	21	仮称大田区総合体育館改築工事請負契約 の専決処分の報告について	22. 9. 17	報告	なし
	22	大田区立羽田中学校校舎改築工事請負契約 の専決処分の報告について	22. 9. 17	報告	なし
	23	大田区立鶴の木保育園改築工事請負契約 の専決処分の報告について	22. 9. 17	報告	なし
	24	大田区立羽田中学校校舎改築電気設備工 事請負契約の専決処分の報告について	22. 9. 17	報告	なし
	25	大田区立羽田中学校校舎改築機械設備工 事請負契約の専決処分の報告について	22. 9. 17	報告	なし
第4回 定例会	26	区が当事者である和解に係る専決処分の 報告について	22. 11. 26	報告	なし
	27	区の義務に属する損害賠償額決定に係る 専決処分の報告について	22. 11. 26	報告	なし

(6) 定例会の質問事項（通告）

平成22年第1回定例会

質 問 者	質 問 事 項
富田 俊一 (公 明)	1 平和市長会議について 2 包括外部監査の報告について 3 平成 22 年度予算について 4 羽田空港をめぐる問題について 5 教育について
安藤 充 (政 友 会)	1 平成 22 年度予算案について 2 羽田空港の再拡張と再国際化について
清水 菊美 (共 産)	1 平和について 2 2010 年度予算について 3 安心できる医療と介護について 4 「日本の宝」大田区中小企業の支援について 5 安心・安全な羽田空港再国際化について
大森 昭彦 (大田自民)	1 行財政運営のあり方と予算について 2 人材育成と活用について 3 産業振興について 4 環境問題について
山崎 勝広 (民 主)	1 基本計画について 2 財源確保策について 3 事業仕分けについて 4 羽田空港周辺の諸課題について 5 耐震化助成事業の拡充について
飯田 茂 (公 明)	1 高齢者対策について 2 健康診査について 3 鉄道駅舎のバリアフリーについて
清波 貞子 (公 明)	1 子宮頸がんワクチンの公費助成について 2 病児、病後児保育について 3 池上駅の整備について
犬伏 秀一 (改 革)	1 最近ますます心配な大田区政の諸問題について 2 最近ますます心配な大田区教育の諸問題について
松原 秀典 (大田自民)	1 大田区の産業政策について 2 消防団の団小屋について 3 町会会館建設の支援について
近藤 忠夫 (自民大田)	1 中小企業の振興策について 2 国際都市大田区の取り組みについて 3 学校教育について
都野 圭子 (民 主)	1 大田区政について 2 国際化について

質 問 者	質 問 事 項
高瀬 三徳 (政 友 会)	1 西馬込車両工場跡地に関する諸問題について 2 次世代を担う若者について 3 産業支援施設について
伊藤 和弘 (政 友 会)	1 臨海部の活用の必要性とそのための交通アクセスについて
奈須 利江 (ネ ッ ト)	1 今、大田区に必要な子育て支援策とは (1) 待機児対策について (2) 子どもがのびのび遊べる公園整備について
荒木 秀樹 (無 所 属)	1 新年会について 2 大森日赤について 3 大森北開発及び新井宿地区の整備について 4 特別出張所について 5 おむつについて 6 大森甚句、羽田節他について 7 災害時要援護者名簿の今後について 8 商店街振興と羽田の国際化について 9 各イベントの成果について 10 池上会館のエレベーターについて
大竹 辰治 (共 産)	1 住民本位の蒲田駅周辺地区ランドデザインへ 2 リフォーム助成について

平成22年第2回定例会

質 問 者	質 問 事 項
大森 昭彦 (自 民)	1 京急線連続立体交差事業と周辺環境について 2 財政運営について 3 産業振興について 4 区民生活の安心について
清波 貞子 (公 明)	1 京急線連続立体交差事業について 2 平和市長会議について 3 国際化に向けたまちづくりについて 4 福祉・健康について 5 産業について 6 環境について
菅谷 郁恵 (共 産)	1 区長は平和のために積極的に行動を 2 京浜急行は公共交通機関としての社会的責任を果たせ 3 区民のくらし営業優先の区政に 4 地域主権改革は国の社会保障の責任を放棄するもの 5 30人学級の実現で、子どもたちにゆき届いた教育を

質 問 者	質 問 事 項
森 愛 (民 主)	1 地域主権の現場として区民が主役の区政について 2 京急線連続立体交差事業について 3 羽田空港国際化について 4 緑の分権改革と大田区の環境政策について 5 産業政策について 6 地域で支える学校について
丸山 かよ (公 明)	1 公共施設の今後のあり方について 2 小中一貫教育について
岡元 由美 (公 明)	1 高齢者の支援について 2 安全なまちづくりについて 3 発達障害児支援について 4 給食費未納について
岸田 哲治 (自 民)	1 海外市場への展開について
鈴木 康文 (自 民)	1 区政運営について 2 教育について
西村健志郎 (区民の会)	1 国際都市としての使命 2 ハブ空港をどう機能させるか 3 まちづくりのなかに、民間力を位置付けるには 4 面をつなぐ「新」蒲蒲線 5 保育に、就業に、経済に資する待機児解消を
押見 隆太 (自 民)	1 35歳世代について 2 羽田空港について 3 保育園について
岸田 正 (民 主)	1 地区計画について 2 建築確認について 3 近隣関係の紛争予防制度について
藤原 幸雄 (共 産)	1 区内中小企業対策について 2 すべての非課税世帯に火災警報器設置を 3 ひとり暮らし高齢者と高齢世帯の見守り制度について
鈴木 隆之 (自 民)	1 空港臨海部の区の対応について 2 国際化にともなう諸課題について

平成22年第3回定例会

質 問 者	質 問 事 項
水井 達興 (自 民)	1 財政について 2 教育について 3 経済投資について 4 羽田空港と観光について 5 消えた家族・児童虐待について
高橋 博 (公 明)	1 大田区版経済成長戦略について 2 平成21年度決算数値について 3 公会計の見直しについて 4 保育について 5 国際化について
金子 悦子 (共 産)	1 2009年度大田区決算と来年度予算編成について 2 区民の暮らし・福祉・営業をささえる区政について 3 産業政策について 4 障害者の人権について
木村 勝 (民 主)	1 経済・財政問題について 2 事務事業見直しについて 3 羽田空港関連問題について 4 交通問題について 5 「新しい公共」について
松本 洋之 (公 明)	1 二元代表制について 2 非営利事業に対する支援のあり方について 3 行政のオンライン化について 4 情報バリアフリーの推進について
富田 俊一 (公 明)	1 民主党の政権運営について 2 平和市長会議について 3 産業振興について 4 教育について 5 外国人旅行者への対応について
犬伏 秀一 (日 本)	1 最近よく行く区長・幹部の海外旅行について 2 国際化より大切な区内ものづくり育成について 3 それでも気になる区政の諸問題について
奈須 利江 (ネ ッ ト)	1 解体現場でアスベストを飛散させないために 2 まちのあちこちで使われているアスベストの混入した再生砕石を流通させないために
和田 正子 (共 産)	1 高齢者の安否確認と熱中症対策について 2 中小企業支援について
松原茂登樹 (自 民)	1 地域経済・中小企業の活性化について 2 ものづくり技術の継承と育成について 3 福祉のまちづくりについて

質 問 者	質 問 事 項
黒川 仁 (民 主)	1 地域について 2 福祉について 3 教育について
野呂 恵子 (緑)	1 福祉について 2 教育について
永井 敬臣 (自 民)	1 地域の発展を願う住民目線とリーダー目線 2 事業施策の現状を問う 3 組織と職員給与を問う

平成22年第4回定例会

質 問 者	質 問 事 項
海老澤信吉 (自 民)	1 新年度の予算について 2 緊急経済対策について 3 羽田空港の国際化について 4 高齢者対策について 5 防災対策について
丸山 かよ (公 明)	1 マニフェストの検証と展望について 2 財政運営について 3 福祉の諸問題について (介護・高齢者事業) 4 地デジ対策について 5 発達障害児 (者) 支援システムについて
佐藤 伸 (共 産)	1 区民のくらしと営業を支える一般会計補正予算第3次について 2 来年度予算編成について 3 大森北一丁目開発をはじめまちづくりについて 4 保育園待機児解消に向けた支援策について
岸田 正 (民 主)	1 松原区長が一期目を執行してきた手法について 2 前区政との違いについて 3 財政の考え方について 4 まちづくりについて
河津 章夫 (自 民)	1 六郷用水の清流と田園調布地域環境について
勝亦 聡 (公 明)	1 ピロリ菌に負けない大田区について 2 成人T細胞白血病について 3 障がい児施策について
清波 貞子 (公 明)	1 女性特有のがんの無料クーポン券の継続について 2 読書活動の推進について 3 児童デイサービスの導入について
岸田 哲治 (自 民)	1 区内産業発展の政策について 2 区内業者育成について

質 問 者	質 問 事 項
鈴木 康文 (自 民)	1 教育について 2 交通について 3 防犯について
清水 菊美 (共 産)	1 羽田空港について 2 不妊治療に対する助成制度について 3 インフルエンザ予防接種について 4 特別支援教育について
森 愛 (民 主)	1 まちづくりについて 2 安心できる地域医療について
奈須 利江 (ネ ッ ト)	1 区立、民立特別養護老人ホームの違いとあるべき大田区の特別養護老人ホームについて 2 少子高齢化に伴う学校施設の有効活用について 3 アスベスト使用建物の違法解体の現状 ～池上旧トーヨーボール等の事例から～
湯本良太郎 (維 新)	1 契約案件について 2 債務負担行為について
荒木 秀樹 (無 所 属)	1 区長の区政運営について 2 保育サービスのあり方について 3 大田区の伝統工芸師について 4 産業振興について 5 防災について
伊藤 和弘 (自 民)	1 知的障害者への対応について 2 認可保育園について 3 入新井図書館の指定管理者について
西村健志郎 (区民の会)	1 新情報システムによる区民サービス向上と経費削減 2 大田区内中小企業支援ビジネスモデルの一提案 3 学校・公共施設等の改築・大規模修繕に向けて 4 羽田（空港臨海部）と蒲田中心核との一体開発 5 防災について

* 第1回定例会 会派名

(公 明) : 大田区議会公明党	(区民の会) : 区議会大田区民の会
(政 友 会) : 自由民主党政友会	(自民大田) : 自由民主党大田区議会
(共 産) : 日本共産党大田区議団	(無 所 属) : 無所属の会
(大田自民) : 大田区議会自民党	(改 革) : 改革110番
(民 主) : 大田区議会民主党	(ネ ッ ト) : 大田生活者ネットワーク
(緑) : 大田区議会緑の党	

* 第2回定例会 会派名

(自 民) : 自由民主党大田区民連合	(区民の会) : 区議会大田区民の会
(公 明) : 大田区議会公明党	(自民大田) : 自由民主党大田区議会
(共 産) : 日本共産党大田区議団	(無 所 属) : 無所属の会
(民 主) : 大田区議会民主党	(改 革) : 改革110番
(緑) : 大田区議会緑の党	(ネ ッ ト) : 大田生活者ネットワーク

* 第3回定例会～第4回定例会 会派名

(自 民) : 自由民主党大田区民連合	(自民大田) : 自由民主党大田区議会
(公 明) : 大田区議会公明党	(無 所 属) : 無所属の会
(共 産) : 日本共産党大田区議団	(日 本) : たちあがれ日本
(民 主) : 大田区議会民主党	(ネ ッ ト) : 大田生活者ネットワーク
(緑) : 大田区議会緑の党	(維 新) : 大田維新の会
(区民の会) : 区議会大田区民の会	

(7) 予算・決算特別委員会の質疑事項（総括質疑 通告）

平成22年予算特別委員会・総括質疑

質問者	質疑事項
渡部登志雄 (公 明)	1 大田区の財政に就いて 2 いきいき高齢者対策に就いて（一人暮らし高齢者） 3 AEDの貸し出し制度及び助成制度に就いて 4 公益法人への派遣に就いて 5 街づくり対策に就いて 6 羽田空港国際化に就いて 7 生活消費者問題に就いて 8 学校地域支援本部に就いて
水井 達興 (政 友 会)	1 財政について 2 生活保護について 3 在宅介護への支援 4 蒲田駅周辺地区グランドデザインについて 5 呑川について 6 防災について
菅谷 郁恵 (共 産)	1 予算について 2 産業経済費について 3 保育について 4 教育について
押見 隆太 (大田自民)	1 羽田空港関連について 2 選管委員について 3 産業経済費について 4 保育園について 5 35歳世代について
木村 勝 (民 主)	1 大田区の目指す国際化と発信力について 2 予算編成方針と財源確保について

平成22年予算特別委員会・しめくくり総括質疑

質問者	質疑事項
岸田 正 (民 主)	1 指定管理者制度 2 予算執行
松原茂登樹 (大田自民)	1 平成22年度予算編成について
菅谷 郁恵 (共 産)	1 保育について 2 教育について
田中 一吉 (政 友 会)	1 地方税財源について 2 負担金・補助及び交付金について 3 新地方公会計制度について 4 中期財政フレームについて 5 歳入の確保について 6 公益法人制度改革について

質 問 者	質 疑 事 項
飯田 茂 (公 明)	1 総論 2 子育て支援対策について 3 朝陽区・大連市との友好交流について 4 学校支援地域本部について

平成22年決算特別委員会・総括質疑

質 問 者	質 疑 事 項
松原 秀典 (自 民)	1 区財政について 2 産業経済について 3 福祉、介護、保健衛生、年金について 4 都市基盤、まちづくりについて 5 教育、その他について
飯田 茂 (公 明)	1 総論 2 決算について 3 高齢者対策について 4 子育て支援対策について 5 住宅対策について 6 安全・安心対策について
藤原 幸雄 (共 産)	1 平和のとりくみについて 2 決算から区政を見て 3 中小企業対策 4 高齢者対策 5 羽田（東京国際空港）跡地、蒲田等再開発と糀谷駅前再開発、ホームドア、ホーム柵設置
山崎 勝広 (民 主)	1 財政関係 2 中小企業対策について 3 待機児対策について 4 いじめ対策について 5 防災対策について

平成22年決算特別委員会・しめくくり総括質疑

質 問 者	質 疑 事 項
都野 圭子 (民 主)	1 聴覚障害者支援 2 医療について
藤原 幸雄 (共 産)	1 開発型まちづくりから、福祉・教育・産業重視の区政をめざすターニングポイント 2 区民の命とくらしを守る区政へ 3 医師会発行の医療情報誌支援等について 4 区民サービスは定数削減でなく職員増で

質 問 者	質 疑 事 項
富田 俊一 (公 明)	1 子育てについて 2 産業振興について 3 教育について
大森 昭彦 (自 民)	1 産業経済対策について 2 羽田の国際化とインフラ整備について 3 決算の結果と今後の事業執行について

*予算特別委員会 会派名

(公 明) : 大田区議会公明党	(区民の会) : 区議会大田区民の会
(政 友 会) : 自由民主党政友会	(自民大田) : 自由民主党大田区議会
(共 産) : 日本共産党大田区議団	(無 所 属) : 無所属の会
(大田自民) : 大田区議会自民党	(改 革) : 改革110番
(民 主) : 大田区議会民主党	(ネ ッ ト) : 大田生活者ネットワーク
(緑) : 大田区議会緑の党	

*決算特別委員会 会派名

(自 民) : 自由民主党大田区民連合	(自民大田) : 自由民主党大田区議会
(公 明) : 大田区議会公明党	(無 所 属) : 無所属の会
(共 産) : 日本共産党大田区議団	(日 本) : たちあがれ日本
(民 主) : 大田区議会民主党	(ネ ッ ト) : 大田生活者ネットワーク
(緑) : 大田区議会緑の党	(維 新) : 大田維新の会
(区民の会) : 区議会大田区民の会	

(8) 委員会別請願・陳情審査件数と処理内訳

内訳		委員会		総務	地域・産業	保健福祉	都市・環境	こども文教	議会運営	開発・観光対策	交通問題調査	羽田空港対策	防災・安全	計
		財政	政	業	社	境	教	営	策	査	策	全		
前年からの継続	請願	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	陳情	4	3	14	22	14	0	0	4	4	0	0	65	
平成22年付託分	請願	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	4	
	陳情	11	3	12	20	14	3	0	1	1	0	0	65	
総計		15	7	29	42	30	3	0	5	5	0	0	136	
採択	前年からの継続	請願	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		陳情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	平成22年付託分	請願	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		陳情	1	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	6
	計		1	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	7
不採択	前年からの継続	請願	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		陳情	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	平成22年付託分	請願	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3
		陳情	1	1	2	2	5	3	0	1	0	0	0	15
	計		1	2	4	2	7	3	0	1	0	0	0	20
取下	前年からの継続	請願	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		陳情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	平成22年付託分	請願	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		陳情	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3
	計		0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3
継続	前年からの継続	請願	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		陳情	4	3	13	22	14	0	0	4	4	0	0	64
	平成22年付託分	請願	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		陳情	9	2	9	15	5	0	0	0	1	0	0	41
	計		13	5	23	37	19	0	0	4	5	0	0	106

(9) 委員会別請願・陳情 (請願6件、陳情130件)

①総務財政委員会

15件 (採択1件、不採択1件、継続13件)

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
19 - 72	19. 9. 26	大田区議会議員の費用弁償に関する陳情	22. 12. 6	継続
20 - 19	20. 3. 7	区議会議員の報酬の値上げに反対する陳情	22. 12. 6	継続
20-100	20. 11. 28	大森南地域に文化センター、ゆうゆうクラブなどの、健康づくりや、憩いの場になる施設の建設を求める陳情	22. 12. 6	継続
21 - 14	21. 3. 9	大田区中央2丁目マンション計画変更に関する陳情	22. 12. 6	継続
21 - 72	22. 3. 1	人権擁護法案・人権侵害救済法案に関する陳情	22. 12. 6	継続
21 - 73	22. 3. 1	永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の決議を求める陳情	22. 12. 6	継続
21 - 74	22. 3. 1	憲法違反の外国人参政権による選挙を実施しないことを再確認する陳情	22. 12. 6	継続
22 - 2	22. 3. 1	永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の決議を求める陳情	22. 12. 6	継続
22 - 3	22. 3. 1	憲法違反の外国人参政権による選挙を実施しないことを再確認する陳情	22. 12. 6	継続
22 - 4	22. 3. 1	山王蘇峰公園の隣地の購入に関する陳情	22. 9. 29	採択
22 - 29	22. 6. 7	永住外国人の地方参政権の早期法制化を求める陳情	22. 12. 6	継続
22 - 30	22. 6. 7	旧日本軍「慰安婦」問題の解決に関する陳情	22. 12. 6	継続
22 - 40	22. 9. 17	安心・安全な国民生活実現のため、国土交通省の地方出先機関の存続を求める陳情	22. 12. 6	継続
22 - 66	22. 9. 29	中央五丁目30番地の公園用地(オリックスから購入)を保育園用地に転用すると補助金等がいくら減額になるかを説明するよう依頼する陳情	22. 10. 13	不採択
22 - 67	22. 11. 26	「事実無根の」従軍慰安婦問題への対応について意見書提出を求める陳情	22. 12. 6	継続

②地域・産業委員会

7件（不採択2件、継続5件）

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
20 - 73	20. 9. 19	消費者行政の体制・人員・予算の抜本的拡充を求める件に関する陳情	22. 12. 6	継続
20 - 74	20. 9. 19	「地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を政府等に求める意見書」を提出することを求める件に関する陳情	22. 12. 6	継続
21 - 65	21. 11. 27	改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書を政府等に提出することを求める件に関する陳情	22. 12. 6	継続
22 - 10	22. 3. 1	非核三原則の法制化を求める意見書採択に関する陳情	22. 12. 6	継続
22 - 14	22. 3. 1	「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」に反対を求める意見書提出に関する陳情	22. 12. 6	継続
22 - 42	22. 9. 17	所得税法第 56 条廃止の意見書の提出を求める請願	22. 9. 29	不採択
22 - 44	22. 9. 17	憲法九条を堅持することを求める意見書提出と憲法九条の理念に適った「非戦平和の実現を願う町」宣言並びに非戦平和主義を広めることを求める陳情	22. 9. 29	不採択

③保健福祉委員会

29件（採択2件、不採択4件、継続23件）

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
19 - 37	19. 6. 8	障害者自立支援法「応益負担」に関する陳情	22. 12. 6	継続
19 - 46	19. 9. 14	介護施設に関する陳情	22. 12. 6	継続
19 - 68	19. 9. 26	緊急一時保護(区制度)に関する陳情	22. 12. 6	継続
19 - 69	19. 9. 26	通所施設に関する陳情	22. 12. 6	継続
19 - 73	19. 9. 26	緊急一時訪問看護師派遣及び在宅訪問看護師派遣の制度新設に関する陳情	22. 12. 6	継続
19 - 93	19. 11. 29	「医療依存度の高い障害者(児)の在宅生活を支える医療制度」を国に求める意見書提出の陳情	22. 12. 6	継続
20 - 20	20. 3. 7	介護保険「生活援助」の必要な給付を求める陳情	22. 9. 29	不採択
20 - 36	20. 6. 6	大田区心身障害者福祉手当の精神障害者への支給を求める陳情	22. 12. 6	継続
20 - 39	20. 6. 6	障害者自立支援法における地域活動支援センターの補助金確保を求める陳情	22. 12. 6	継続
20 - 41	20. 6. 6	障害者自立支援法における利用者特別加算金等の継続を求める陳情	22. 12. 6	継続
20 - 54	20. 9. 19	医療依存度の高い重度障害者(児)の在宅生活を支える看護師と理学療法士派遣の陳情	22. 12. 6	継続
20 - 78	20. 9. 30	中途失聴・難聴者の情報保障についての陳情	22. 12. 6	継続
20 - 97	20. 11. 28	社会保険蒲田総合病院の公的医療機関としての存続を求める陳情	22. 12. 6	継続
21 - 45	21. 9. 17	ヒブワクチンの公費助成による定期接種化を求める陳情	22. 12. 6	継続
21 - 51	21. 9. 30	生活保護の「母子加算」復活を要求する国への意見書を求める請願	22. 9. 29	不採択
21 - 52	21. 9. 30	生活保護の「高齢加算」復活を要求する国への意見書を求める請願	22. 12. 6	継続
22 - 1	22. 3. 1	高齢者火災安全システム見直しに関する陳情	22. 3. 9	不採択
22 - 11	22. 3. 1	シルバーカーの購入費用に区から助成を求める陳情	22. 12. 6	継続
22 - 27	22. 6. 7	子宮頸がんワクチンの公費助成を要望する陳情	22. 6. 15	採択

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
22 - 43	22. 9. 17	福祉手当に関する陳情	22. 12. 6	継続
22 - 52	22. 9. 17	クーラーの電気代及び設置費用の助成についての陳情	22. 12. 6	継続
22 - 56	22. 9. 29	冷房に使用する電気代の補助・冷房機設置の助成に関する陳情	22. 12. 6	継続
22 - 58	22. 9. 29	一人暮らしの高齢者や高齢者だけの世帯に対する安否確認に関する陳情	22. 12. 6	継続
22 - 61	22. 9. 29	小児肺炎球菌ワクチン接種への公費助成を求める陳情	22. 12. 6	継続
22 - 62	22. 9. 29	高齢者見回り事業の実現についての陳情	22. 12. 6	継続
22 - 70	22. 11. 26	総合病院誘致への区の協力を求める請願	22. 12. 6	採択
22 - 71	22. 11. 26	高齢者の見守りの公的拡充に関する陳情	22. 12. 6	不採択
22 - 75	22. 11. 26	社会保険蒲田総合病院の公的存続法案の早期成立を求める陳情	22. 12. 6	継続
22 - 77	22. 11. 26	特別養護老人ホームの建設を求める陳情	22. 12. 6	継続

④都市・環境委員会

42件（採択2件、不採択2件、取下1件、継続37件）

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
19 - 24	19. 6. 8	田園調布 4～5 丁目地域に児童公園の新設を 求める陳情	22. 12. 6	継続
19 - 27	19. 6. 8	補助 44 号道路計画の見直しに関する陳情	22. 12. 6	継続
19 - 35	19. 6. 8	たばこ喫煙所の新設を求める陳情	22. 12. 6	継続
19 - 42	19. 6. 8	雑色駅周辺に駐輪場設置を求める陳情	22. 12. 6	継続
19 - 47	19. 9. 14	区営住宅入居希望に関する陳情	22. 12. 6	継続
19 - 64	19. 9. 26	ふるさとの浜公園へ水族館かこん虫館等を 作ることを強く要望する陳情	22. 12. 6	継続
19 - 71	19. 9. 26	「住宅地に大型店舗を出店することに対す る指導」に関する陳情	22. 12. 6	継続
19 - 78	19. 11. 29	多摩川大師橋緑地にトイレ増設を求める陳情	22. 12. 6	継続
19 - 81	19. 11. 29	道路交通規制に関する陳情	22. 12. 6	継続
19 - 98	20. 2. 28	都営地下鉄馬込修理工場跡地に商業施設を 誘致する構想に反対の陳情	22. 12. 6	継続
20 - 3	20. 2. 28	ラグビーグラウンド建設に関する陳情	22. 12. 6	継続
20 - 12	20. 3. 7	ガス橋駐車場整備工事に関する陳情	22. 12. 6	継続
20 - 17	20. 3. 7	高層マンションの風害に関する陳情	22. 12. 6	継続
20 - 22	20. 6. 6	大田区立洗足池公園子ども広場に関する陳情	22. 12. 6	継続
20 - 35	20. 6. 6	自動二輪車駐車スペースに関する陳情	22. 12. 6	継続
20 - 47	20. 6. 6	主要施設付近への自動二輪車一時駐車場の 設置の陳情	22. 12. 6	継続
20 - 49	20. 6. 6	平和島駅構内にトイレとエレベーターの一 日も早い設置を求める陳情	22. 12. 6	継続
20 - 50	20. 6. 6	南馬込 2 丁目の自然林を残す事に関する陳情	22. 12. 6	継続
20 - 79	20. 9. 30	東邦医大通りの「東邦医大前」バス停に雨よ け（日よけ）用の屋根の設置についての陳情	22. 12. 6	継続
21 - 8	21. 2. 27	第二京浜国道馬込坂下の歩道橋のある交差 点に、横断歩道を設置するよう要請する陳情	22. 12. 6	継続
21 - 47	21. 9. 30	多摩川河川敷（田園調布 4 丁目先・多摩川グ ランド付近）の除草工事に関する陳情	22. 12. 6	継続
21 - 48	21. 9. 30	鬼たび通り（東邦医大通り）大森西 4 丁目バ ス停に雨よけ（日よけ）用の屋根の設置促進 についての陳情	22. 12. 6	継続

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
21 - 75	22. 3. 1	場外舟券発券計画に反対し、安全・安心な街づくりの推進を求める陳情	22. 3. 25	不採択
22 - 9	22. 3. 1	犬の糞と毛による害についての陳情	22. 12. 6	継続
22 - 18	22. 3. 9	平和島駅の環境整備についての陳情	22. 3. 25	不採択
22 - 20	22. 3. 9	J R、東急蒲田駅西口の放置自転車対策を求める陳情	22. 12. 6	継続
22 - 26	22. 6. 7	〔仮称〕中央5丁目緑地の植樹に関する陳情	22. 12. 6	継続
22 - 28	22. 6. 7	高齢者の為の運動広場設置に関する陳情	22. 9. 29	取下
22 - 45	22. 9. 17	糞谷駅のホーム下に駐輪場設置を求める陳情	22. 12. 6	継続
22 - 46	22. 9. 17	糞谷駅周辺の高架下に、充分なる駐輪場設置に関する陳情	22. 12. 6	継続
22 - 47	22. 9. 17	糞谷駅周辺と環状8号線の糞谷駅交差点付近の駐輪場増設に関する陳情	22. 12. 6	継続
22 - 48	22. 9. 17	糞谷駅ホームに防護柵設置を求める陳情	22. 12. 6	継続
22 - 49	22. 9. 17	糞谷駅ホームに、転落防止の柵の取り付けを求める陳情	22. 12. 6	継続
22 - 51	22. 9. 17	東京都住宅供給公社の家賃値上げ反対に関する陳情	22. 9. 29	採択
22 - 54	22. 9. 29	利用者の希望に添った「萩中がらくた公園」の改修に関する陳情	22. 12. 6	継続
22 - 55	22. 9. 29	運動広場に関する陳情	22. 10. 13	採択
22 - 63	22. 9. 29	「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の国への提出を求める陳情	22. 12. 6	継続
22 - 69	22. 11. 26	「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の採択を求める陳情	22. 12. 6	継続
22 - 72	22. 11. 26	夏季生ゴミ収集回数増加依頼に関する陳情	22. 12. 6	継続
22 - 73	22. 11. 26	住宅（店舗等）リフォーム助成事業の創設を求める陳情	22. 12. 6	継続
22 - 74	22. 11. 26	犬の飼育に関する陳情	22. 12. 6	継続
22 - 76	22. 11. 26	商店街・周辺住民を無視した「花葬儀大森ホール」計画につき問題点を改善指導するよう依頼する陳情	22. 12. 6	継続

⑤こども文教委員会

30件（採択2件、不採択7件、取下げ2件、継続19件）

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
19 - 16	19. 6. 8	学童保育の時間延長に関する陳情	22. 12. 6	継続
19 - 23	19. 6. 8	田園調布4～5丁目地域に児童館の建設を求める陳情	22. 12. 6	継続
19 - 49	19. 9. 14	視覚障害者向け音訳資料、情報作製機器予算に関する陳情	22. 12. 6	継続
19 - 95	19. 11. 29	学校図書館のより有効な活用のため、人の配置などの仕組みを作っていただくための陳情	22. 12. 6	継続
19 - 96	19. 11. 29	大田図書館を区立中央館として機能させるための陳情	22. 12. 6	継続
20 - 1	20. 2. 28	鵜の木保育園を南久が原の現在地に存続を求める陳情	22. 12. 6	継続
20 - 2	20. 2. 28	鵜の木保育園を南久が原の現在地に存続を求める陳情	22. 12. 6	継続
20 - 14	20. 3. 7	保育園を南久が原に残すことを求める陳情	22. 12. 6	継続
20 - 64	20. 9. 19	「いじめ防止条例」制定に関する陳情	22. 12. 6	継続
20 - 76	20. 9. 19	区立小・中学校の給食費を値上げしないよう求める陳情	22. 12. 6	継続
21 - 5	21. 2. 27	私立幼稚園に対して、格段の予算増等ご配慮を願う陳情	22. 12. 6	継続
21 - 40	21. 9. 17	認証保育所の保育料等の助成に関する陳情	22. 12. 6	継続
21 - 46	21. 9. 17	「3人乗り自転車」のレンタル化を求める陳情	22. 12. 6	継続
21 - 62	21. 11. 27	大田区内のすべての認可保育園に看護師を配置していただきたい陳情	22. 12. 6	継続
22 - 13	22. 3. 1	幼稚園就園奨励制度の変更に伴う保護者の負担増への対応についての緊急要望に関する陳情	22. 3. 9	採択
22 - 15	22. 3. 1	すべての子どもたちにゆきとどいた教育をすすめるための請願	22. 3. 9	不採択
22 - 21	22. 3. 9	教育委員会は他の部局と同様に説明責任をはたす様依頼する陳情	22. 3. 25	不採択
22 - 31	22. 6. 7	朝鮮高校を無償化の対象にすることを求める陳情	22. 12. 6	継続
22 - 32	22. 6. 7	馬込地区に区立保育園用地を購入するよう要請する陳情	22. 6. 15	不採択

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
22 - 33	22. 6. 7	入新井保育園の仮園舎建築計画を変更し新規保育園とするよう依頼する陳情	22. 6. 15	不採択
22 - 34	22. 6. 7	発達障害児に関する陳情	22. 9. 16	取下げ
22 - 35	22. 6. 7	区立小・中学校における少人数学級実施を求める陳情	22. 6. 15	不採択
22 - 41	22. 9. 17	発達障害児の送迎に関する陳情	22. 9. 29	採択
22 - 50	22. 9. 17	小中学校の加配教員は現場の要望を反映して活用することを要望する陳情	22. 12. 6	継続
22 - 53	22. 9. 17	学校給食で提供される牛乳を無脂肪・低脂肪牛乳を選択可能にして頂くための陳情	22. 12. 6	継続
22 - 59	22. 9. 29	学童保育の利用対象の拡充を求める陳情	22. 11. 25	取下げ
22 - 64	22. 9. 29	「パス乳」を給食に導入することの陳情	22. 12. 6	継続
22 - 65	22. 9. 29	馬込地区に（佐伯山下のように）保育園用地を手配するよう要請する陳情	22. 10. 13	不採択
22 - 68	22. 11. 26	障害児を対象とした学童保育の利用対象の拡充を求める陳情	22. 12. 6	継続
22 - 78	22. 11. 26	すべての子どもがすこやかにそだつ大田区をめざす請願	22. 12. 6	不採択

⑥議会運営委員会

3件（不採択3件）

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
22 - 6	22. 3. 1	区議会本会議開催日を平日以外の日にも設ける事を求める陳情	22. 3. 9	不採択
22 - 7	22. 3. 1	『おおた区議会だより』に各会派の政務調査費の使途がわかる一覧表のようなものを載せることを求める陳情	22. 3. 9	不採択
22 - 17	22. 3. 9	地方議員年金廃止を求める意見書提出を求める陳情	22. 3. 25	不採択

⑦交通問題調査特別委員会

5件（不採択1件、継続4件）

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
19 - 26	19. 6. 8	下丸子・矢口・多摩川地域にコミュニティバス路線の新設を求める陳情	22. 12. 6	継続
19 - 36	19. 6. 8	西蒲田・池上地域の交通空白地域にコミュニティバス（ミニバス）の運行を求める陳情	22. 12. 6	継続
19 - 51	19. 9. 14	矢口、下丸子地域にコミュニティバスの新設運行を求める陳情	22. 12. 6	継続
19 - 70	19. 9. 26	中央地域にコミュニティバスの運行を求める陳情	22. 12. 6	継続
22 - 8	22. 3. 1	都市計画決定の白紙撤回を求める陳情	22. 3. 9	不採択

⑧羽田空港対策特別委員会

5件（継続5件）

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
19 - 21	19. 6. 8	大田区羽田空港跡地53haの開発に関する陳情	22. 12. 6	継続
19 - 99	20. 2. 28	「羽田航空宇宙科学館（仮称）」の設立に関する陳情	22. 12. 6	継続
20 - 34	20. 6. 6	羽田空港跡地に「平和館」の設立を要請することに関する陳情	22. 12. 6	継続
21 - 27	21. 6. 8	米軍横田基地の空域削減による羽田空港出発経路の変更による、航空機騒音被害に関する陳情	22. 12. 6	継続
22 - 12	22. 3. 1	「大田区飛行騒音規制条例」制定の陳情	22. 12. 6	継続

(10) 決議・意見書

東京都住宅供給公社一般賃貸住宅における家賃改定に関する意見書

東京都住宅供給公社一般賃貸住宅の家賃については、平成 14 年 3 月の地方住宅供給公社法施行規則の改正を受け、平成 16 年 3 月より 3 年ごとに家賃改定を行うことが制度化されました。

この結果、今年がその改定時期に当たっておりましたが、東京都住宅供給公社は、東京都からの要請と景気悪化を理由として、平成 22 年 4 月に予定されていた家賃改定のうち家賃引き上げ部分については、平成 22 年 9 月 30 日まで延期すると決定しました。

しかしながら、現在、都民を取り巻く経済情勢は半年前と変わらず厳しい状況が続いています。公社住宅には、高齢者、年金生活者も多数入居しているため、家賃値上げによる影響は大きく生活・居住の安定を図る観点から、平成 22 年 10 月以降も引き続き家賃値上げについては延期するよう、東京都より東京都住宅供給公社に働きかけていただきますよう求めます。

以上、地方自治法第 99 条の規定に基づき、意見書を提出いたします。

平成 22 年 9 月 29 日

東京都知事 あて

大田区議会議長

東京国際空港周辺部の道路交通対策に関する意見書

東京国際空港は、本年 10 月に再拡張事業が供用開始となり、今後、年間の発着枠が段階的に 44.7 万回まで拡大される。合わせて昼間 3 万回、深夜早朝 3 万回の国際定期便を割り当てるなど、東京国際空港は、空港利用者の利便性の向上とわが国の成長に資する国際競争力の強化を図るため、24 時間国際拠点空港となっていく予定である。

一方、発着枠の増加は空港利用者の増加を伴い、また、年間 50 万トンの取扱量が見込まれている国際線貨物ターミナルも供用開始されるなど、空港の機能拡大は、空港へのアクセス需要を飛躍的に高め、周辺道路への影響が懸念される。加えて、周辺での大型物流施設の計画や将来の空港跡地の土地利用など、空港周辺の開発動向を見据えると、現在の道路インフラでは対応できないのは明らかである。

特に、大鳥居交差点や首都高速羽田ランプ交差点付近は、現状でも恒常的な渋滞が生じており、今後ますます深刻化していくことが予想される。その結果、空港アクセスへの支障はもとより、渋滞を回避するための車両が生活道路へ流入し、周辺住民の生活環境や経済活動に大きな影響を及ぼすことになる。

大田区議会は、東京国際空港が機能を十分に発揮するとともに、地域と共存していくためには、空港周辺の道路整備等が喫緊の課題であると考え、よって、国及び東京都に対し、下記の事項を強く要望する。

記

- 1 首都高速道路の高速湾岸線の湾岸環八と浮島の一区間及び高速神奈川 1 号横羽線の羽田と大師の一区間の無料化を含めた料金体系の見直しを行うこと。
- 2 環状 8 号線首都高速道路羽田ランプ交差点を改良すること。
- 3 国道 357 号の川崎方面への延伸を早期に実現すること。
- 4 大鳥居交差点の立体交差化を行うこと。

以上、地方自治法第 99 条の規定により、意見書を提出する。

平成 22 年 10 月 13 日

国土交通大臣 }
東京都知事 } あて

大田区議会議長

東京国際空港A滑走路北側離陸左旋回の早期廃止を求める意見書

東京国際空港におけるA滑走路北側から離陸し、左旋回をする飛行機については、その騒音被害が区内内陸部に生じることから、大田区は長らくその廃止を求めてきた。左旋回の運用については、当時の運輸省と協議をし、平成12年7月から、朝7時、8時台の出発需要への対応として、1日5便を限度に認めてきた。とりわけ、冬の時期は北風時が多く、ほぼ毎日のように5便の飛行機が左旋回で区内上空を飛行するため、高い騒音値が記録されており、騒音被害や航空機事故等の安全性への不安の声が区民から上がっている。

東京国際空港は、本年10月末から新しく4本目のD滑走路が供用開始になる。この滑走路を活用することで、これまでのA滑走路からの左旋回は廃止することができるものと期待してきたところであるが、貴省からの再拡張後の運用に対する大田区への回答は、左旋回をこれまでの1日当たり5便以下から3便以下とし、今後の管制の慣熟を待って数年で廃止することを目標とする内容であった。

歴史的に、戦後48時間以内の強制退去をはじめとする地元住民の多大なる犠牲と忍耐、騒音による健康面への不安を払拭するためにも、左旋回の運用が継続されることを決して容認することはできない。

大田区議会は、空港周辺住民の安全と生活環境を守ることは何よりも最優先されるべきと考え、東京国際空港A滑走路北側離陸左旋回の早期廃止を強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成22年10月13日

国土交通大臣 あて

大田区議会議長

子ども手当の全額国費負担を求める意見書

国の平成 23 年度予算概算要求が発表されたところであるが、子ども手当にかかる概算要求は、とりあえず仮置きの要求されたものであり、財源構成等については、関係団体とも協議しつつ、予算編成過程で検討し、結論を得たいとされている。しかし、昨年を経緯にもかかわらず、地方に対して十分な協議もないまま平成 22 年度予算の負担ルールを当てはめ、地方負担を含む概算要求がなされていることは、誠に遺憾である。

政府は政権発足以来、子ども手当は全額国費負担で実施するという方針をこれまで繰り返し表明してきた。地方負担を前提とした平成 22 年度の子ども手当と児童手当を併給する方式はあくまで暫定措置であり、平成 23 年度以降の制度設計については地方の意見を踏まえ改めて検討することとされた。

これに対し全国の地方公共団体は、市議会議長会長などを通じ、それぞれの地域の実態に応じた形で地方自治体の創意工夫により地方が担当するサービスがある一方、子ども手当のような全国一律の現金給付については、国が担当し全額を負担すべきと繰り返し主張してきた。

大田区議会は、平成 23 年度以降の子ども手当の本格的な制度設計においては、国と地方とで十分な協議を行い、国が全額国費負担すべきであるとの地方の主張に沿った制度を実現するよう強く求める。

以上、地方自治法第 99 条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成 22 年 12 月 6 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣
財務大臣
厚生労働大臣

} あて

大田区議会議長

(11) 要望書

平成 22 年 9 月 29 日

東京都住宅供給公社
理事長 幸田昭一様

大田区議会議長
高瀬三徳

東京都住宅供給公社一般賃貸住宅における家賃改定に関する要望書

東京都住宅供給公社一般賃貸住宅の家賃については、平成 14 年 3 月の地方住宅供給公社法施行規則の改正を受け、平成 16 年 3 月より 3 年ごとに家賃改定を行うことが制度化されました。

この結果、今年がその改定時期に当たっておりましたが、東京都住宅供給公社は、東京都からの要請と景気悪化を理由として、平成 22 年 4 月に予定されていた家賃改定のうち家賃引き上げ部分については、平成 22 年 9 月 30 日まで延期すると決定しました。

しかしながら、現在、都民を取り巻く経済情勢は半年前と変わらず厳しい状況が続いています。公社住宅には、高齢者、年金生活者も多数入居しているため、家賃値上げによる影響は大きく生活・居住の安定を図る観点から、平成 22 年 10 月以降も引き続き家賃値上げについては延期するよう要望いたします。

(12) 国内視察

①常任委員会行政視察

委員会	視察先	調査事項	視察日
総務財政	武雄市	・行政改革について	8月30日 ～9月1日
	岡山市	・事務事業の見直しについて	
	大阪市	・提案競争型民間活用の取り組みについて	
地域・産業	釧路市	・釧路工業技術センターについて	8月30日 ～9月1日
	小樽市	・商業振興施策（小樽商人塾・空き店舗対策支援等）について	
	千歳市	・千歳市地域産業活性化基本計画について	
保健福祉	守口市	・さんあい広場「さた」について	8月30日 ～9月1日
	春日市	・福岡県総合福祉センターについて （施設見学）	
	福岡市	・社会保障カード実証事業について	
都市・環境	鹿児島県環境技術協会	・「鹿児島県環境技術協会の普及啓発活動について」～主に森のようちえんの運営・内容について	12月8日 ～10日
	福岡市	・「アイランドシティ事業について」	
	北九州市	・「北九州エコタウン事業について」	
こども文教	札幌市	・都心部子ども関連複合施設について	8月30日 ～9月1日
	旭川市	・保育所入所待機児対策について	
	函館市	①函館市（教育委員会）における学力向上対策の取組について ②函館市スポーツ振興計画の概要について	

②特別委員会行政視察

委員会	視察先	調査事項	視察日
開発・観光対策	熊本市	・熊本駅周辺地域整備事業について	10月26日 ～27日
	福岡市	・ビクターズ・インダストリー～外国人観光客の誘致～について	
交通問題調査	白山市	・コミュニティバスめぐーるについて	10月14日 ～15日
	上越市	・公共交通とまちづくりについて	
羽田空港対策	豊中市	・大阪国際空港周辺緑地整備事業について	10月14日 ～15日
	中部国際空港	・空港概要について ・国際貨物ターミナルの現状と今後の展開及び地域に与える効果について ・地域との共存・共栄を図るための取り組みについて	
防災・安全対策	岡崎市	・岡崎市における水害対策に対する取組について	11月8日 ～9日
	亀岡市	・セーフコミュニティ推進事業について	

(13) 親善訪問

①大田区議会大連市親善訪問

派遣期間

平成22年10月18日（月）から10月21日（木）まで

派遣場所

中華人民共和国 遼寧省大連市

派遣議員

河津章夫、伊藤和弘、押見隆太、鈴木隆之、荒川善夫、
古山昌子、渡部登志雄、岸田正、森愛

①大田区議会大連市親善訪問団報告書

はじめに

団長 河津章夫

私たち大田区議会議員9名は、4日間の日程での大連市親善訪問を実施しました。時、あたかも尖閣諸島沖事件の後遺症のまっただ中の訪問でした。

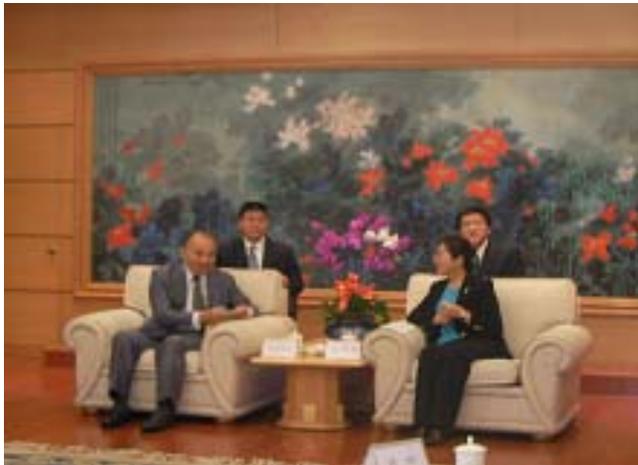
日本が実効支配する尖閣諸島を、中国は自らの領土と主張しています。尖閣諸島沖で起きた事件を、日本の国内法で処理するのを黙認すれば、尖閣諸島が日本の領土だと認めることとなります。

とりわけ残念なことは、温家宝首相自らの提案による1千人規模の「日本青年上海万博訪問団」を出発直前になって中止したことです。次世代の若者にとって、またとない交流の機会を奪った中国の責任は重いと考えます。

私たちは、この事件を踏まえつつ、今回の訪問を決意いたしました。当然、大連市人民代表大会常務委員会副主任 銭忠傑氏、並びに秘書長 孫国梁氏の両氏との会談は慎重にして、歯に衣着せず我々の目的である、昨年区長が結んだ協定書の更なる発展を強く要望し、それを基にして日本との交流を盛んにし、世界平和の一石に結びつけることが必要だということを様々な事例をもとに、双方の責務の確認を要請してまいりました。

とりわけ10月21日（木）は、羽田東京国際空港の32年ぶりの誕生でもあり、大連周水子国際空港間の直行便就航の同意を双方確認いたしました。

各団員の個別報告をひとつにして我々訪問団の報告といたします。



河津団長と曹副市長の会談



大連市人民代表大会常務委員会にて

平成22年 大田区議会大連市親善訪問 概要

- ◆期 間 平成22年10月18日（月）～10月21日（木） 4日間
- ◆訪問都市 友好・視察都市 中華人民共和国 遼寧省大連市
- ◆団 員 団 長 河津 章夫 副団長 渡部登志雄 団 員 伊藤 和弘
 団 員 押見 隆太 団 員 鈴木 隆之 団 員 荒川 善夫
 団 員 古山 昌子 団 員 岸田 正 団 員 森 愛
- ◆行 程

	月 日	都 市 名	スケジュール
1	10月18日（月）	東京（成田）発 大 連 着	日本航空827便（エコノミークラス） 大連市内視察
2	19日（火）	大 連 市	大連市人民政府親善訪問 曹 愛華大連市副市長と会談 北九州市アンテナショップ視察 瑞格中学校訪問 青森県ビジネスサポートセンター視察 大連市外事弁公室主催懇親会
3	20日（水）	大 連 市	大連市金州新区管理委員会訪問 日本電産日新（大連）工機有限公司視察 大連市人民代表大会常務委員会表敬訪問 錢 忠傑大連市人民代表大会 常務委員会副主任と会談 大田区議会主催懇親会
4	21日（木）	大 連 発 東京（成田）着	大連市内視察 日本航空828便（エコノミークラス）

◆経 費 他

(1) 議員9人分 計1,787,295円

内 訳 (議員1人あたり 198,588円)	航空賃など交通費、 親善訪問・視察経費他	122,132円	航空賃、空港税、空港施設使用料、 鉄道賃、現地車(バス)賃、通訳料、 添乗員同行費用他
	宿 泊 料 他	37,400円	宿泊料金、食事料金(朝・昼・夕)
	日 当 他	39,056円	日当、支度料他

(2) 宿泊ホテル

大 連 銀帆賓館 (1泊)
富麗華大酒店 (2泊)

大連市人民政府表敬訪問

団員 荒川善夫

大連市外事弁公室 史明強副主任も同席。

親善訪問出発当日、ニュース報道では尖閣（中国名・魚釣島）諸島沖の中国漁船衝突事件を巡り、成都、西安、鄭州、杭州などで青年や学生による抗議デモがあり、イトーヨーカドー、ミズノなどの日系企業の店舗が破壊され、トヨタの車などが壊され一部暴徒化しているとの報道があり、不安の中での中国大連市親善訪問となりました。

会見した曹愛華副市长は就任したばかりの若き42歳の女性で、日本との友好関係、大田区との友好関係を続けるため、今回の尖閣諸島の事件は影響があるものの中日友好を大事にしたいと表明されました。

会談の中で曹副市长は、大田区の中小企業を大切と思っており、今生きている工匠、中国にも老匠がたくさんいるが、大田区から大連市は学んでいきたいと思う。日本のアンテナショップを見たことがあり、大変興味を持った。見たことのない物がたくさんあり、多くの商品は大田区から出品されており、是非中国の青年たちに見てもらい、創造力を養ってもらいたい。青年たちの大事な国の未来のため伝統・文化を重視している。人類の発展に文化・産業が大切で、新しい産業を造るため大連市と大田区の双方が協力できれば良いと考えている。また、青少年の友好交流は理解を深め、日本人の真面目さを勉強してもらいたいと言われていました。

羽田空港に新国際線ターミナルが開設されたことも、中国にNHKのニュースが報道されており、曹副市长も理解をされているところであり、大連から羽田への直行便の就航を願っているとされました。

国民の友好、正義の友好、日本との友好を重視している。感情的な友好だけでなく実態のある



大連市人民政府

中日友好を続け、重ねて羽田・大連の直行便就航を締結いたしたいと述べられていました。

3泊4日の親善訪問、大連市人民政府、北九州市アンテナショップ、瑞格中学校、青森県ビジネスサポートセンター、大連金州新区・大連経済技術開発区管理委員会、大連真言諮詢服務有限公司（スナオ）、大田工業連合会・中国連絡所、日本電産日新工機、大連市人民代表大会常務委員会などの全体から感想を述べるなら、友好交流は文化・教育のレベルを基本ベースにして積み上げていくべきと感じました。



大連市人民政府にて曹副市长を訪問

産業・技術交流であれば、企業間の取引が実を結び成果を出さなければなりません。大連市には、既に何百社の日系企業が現地で合弁会社を立ち上げ、成果を出しているところであり、今年はその日系企業の中国人労働者が仕事をボイコットし、賃上げ闘争を行う、このデモも事前に人

民政府に届け出をし、了解を受け実行しています。その結果、月給700元から1,200元になり、実に40%~50%の増額となりました。中国政府の労働対価の所得目標は3倍増であり、日本の経営陣は要求をのまざるを得ません。労働賃金は利益を食いつぶし、日系企業は経営撤退を余儀なくされ、中国進出は無意味なものになってしまいます。本来、低価な中国の労働賃金を求め進出したわけだから、それがかなわないとなればと日系企業は悩んでいます。

今年中国で起きた事件、大連市内の日系企業労働者の職場放棄の賃上げ闘争、尖閣諸島沖の漁船衝突事故、レアアースの禁輸、日系企業店舗への破壊行動・不買運動、すべて偶発によって起きたとは思えません。一党独裁による日本への政治的圧力を強烈に感じます。そのような中国大連市に、大田区の小・零細企業が仕事を求め、技術を売り込むことは至難の業と言えましょう。

資本主義経済を実行し、社会制度は共産党の支配により、経済活動が阻害される。よって大田工連の大連事務所進出は、現状では成果を出しにくいのではとの思いを強くいたしました。大田区の技術を売り込み、事業提携まで結実させるためには、事前の用意周到な計画が必要で、現状の大田区が投入している予算は再検討が必要と感じました。

北九州市アンテナショップ

団員 岸 田 正

大田区は「モノづくりのまち」として知られています。大田区に設計図を持ってくれば、作れないものは無いといわれるほど、世界でも特異な「モノづくりの達人が集まったまち」です。そして、そんな言葉が生まれた背景には大田区ならではの特徴が関係しています。多くの町工場が集積し多くの優秀な技術者がいたのです。

ところが以前は、大田区内に9,000社以上あったといわれた工場が、現在は、その数が4,000社を切ってしまったといわれています。リーマンショックに始まった世界経済不況、そして円高・株安は、我が大田区においても、その影響は大であり大田区の特徴である「モノづくりのまち」を直撃しています。私たち大田区議会は大田区の活性化のためには、大田区の特徴である「モノづくりのまち大田」を、広く国内外はもとより世界に発信し、大田区の活性化に資するため、大田区を持っている技術力を高く評価し、また民間企業がアンテナショップを開いた中国大連市を視察しました。



北九州市アンテナショップ

北九州市アンテナショップ視察

北九州市アンテナショップには、10月19日に訪れ視察しましたが、当日の直前に予定された大連市人民政府の曹愛華副市長との会見が、相手方の直前の予定が長引き大分待たされたおかげで、視察時間が短縮されてしまったことは、非常に残念でした。北九州市アンテナショップは、繁華街の中のホテルの1階入口正面にあります。当日は、北九州市の職員と現地の中国人スタッフが出迎え説明をしてくれました。

北九州市アンテナショップの概要

北九州市は、中国大連市において、北九州市内中小企業の中国市場への販路開拓を目的に「大連チャレンジショップ」を設置した。

名称 日本北九州商品展示販売センター

開設時期 2009年5月24日

設置期間 2009年5月～2011年9月

設置場所 大連心悅大酒店1階ロビー（4星ホテル ビジネス街の目抜き通り沿い）

設置主体 Made in Japan Shop（北九州ギャラリー）運営協議会

出展ブース概要

①出展ブース数 59ブース（内訳：工業製品27、食品15、環境技術外17）

②代表的な展示内容

・工業製品・食品関係・環境技術・雑貨関係・北九州市の環境投資ブースの設置機能 単なる出展品の紹介だけでなく、現地販売開拓専門員（中国の専門商社）が、中国市場への販売開拓の可能性を含めた営業活動を実施。

出展条件 中国国内市場における販売開拓を希望する企業及び個人

出展料 1ブース月毎の出展料と初回の登録料（以上北九州市からの資料による）

視察と説明を受けた中で感じた事は、大田区のアンテナショップとの対比でありました。大田区がアンテナショップを設置している場所は、官庁街の中のあまり人が訪れないであろう建物の中にあり、設置場所に疑問を感じました。また、今回様々な場所の視察や多くの人々と面談する中で、中国国内で大田区の町工場の技術を売りこむのは、様々な条件をクリアしなければならず相当に難しいと感じました。

そのような課題がある中で、北九州市アンテナショップ手法は、廉価なコストで市場調査、関心ある商談先の取り付け、人脈の紹介など、中国市場への新規参入のきっかけづくりができます。出展者に代わり、現地販路開拓専門員が現地商習慣に合った営業活動を行うため、中国ビジネスの販路拡大を行う拠点として活用できる。小売販売を行うことで現地の消費者ニーズを探ることができる。個々の企業戦略を立てることができるなどが考えられます。



北九州市アンテナショップ内の様子

これらの効用を考えたとき、中国国内に進出するための様々な条件がクリアされ、大田区の町工場が技術を売りこむためのひとつの方向性を、北九州市アンテナショップ手法は示しているのではないのでしょうか。

（参考文献 北九州市産業経済局 大連チャレンジショップ）

瑞格中学校表敬訪問

団員 伊藤和弘

大連市訪問の2日目の午後、大連市瑞格中学校を訪問しました。この学校の生徒たちが今年の夏にサマーキャンプとして訪日した際、大田区議会を見学に来てくれたので、そのお礼も兼ねて訪問したいと依頼したところ、快く引き受けてくれて実現したものであります。

瑞格中学校は、市内からバスで約20分ほどのところにあり、4階建てのきれいな校舎でありました。

まず、会議室で校長先生はじめ訪日団の引率の先生、そしてその時の生徒たちのほとんどが出席してくれました。校長先生の代わりに学校の概要を生徒の代表が説明してくれ、その後、我々の質問に答える形で色々と話をしてくれました。まず、訪日した際の日本や大田区の印象については、

「人がとても優しいと感じた」また、「街がきれいだと思った」など、いいイメージを持ってくれたようです。街がきれいなことを表すのに「1日中外にいても靴が白いままだった」という表現が中国の子どもとしてとても正直な感想だったと感心しました。



瑞格中学校校庭にて



瑞格中学校校舎



生徒との交流会で説明を受ける

また、将来の希望については「新聞記者になりたい」や「日本で働きたい」など必ずしも国の上層部を目指しているものでもないという風に感じました。

懇談の後、まだ勉強中の教室や広々とした校庭（約1,000㎡の人工芝ということであった）を見学させてもらいました。授業中は私語を話す子もなく、実にきちんとしている様子にひたすら感心する我々でありました。この学校のグループは、「日本や他の国と積極的に交流をして、国際的な子どもたちを育てる」という大きな方針を持っているということでした。我々も国際都市を標ぼうするのであれば、子どものうちから国際感覚を身につけることのできる教育をしていく必要があるのではないかと強く感じた訪問でありました。

青森県ビジネスサポートセンター視察報告

団員 古山昌子

瑞格中学校訪問後、銀行ビルの5階にあるオフィスを訪ねる。

劉 瑛（女性）総経理が説明に当たってくれた。

青森県ビジネスサポートセンターは、青森県及び秋田県が大連市とのビジネス交流のコンサルティングを行っている。青森県については今年4月から加わった。

劉 瑛さんは1995年から2002年までジェトロ大連で働き、独立してコンサルティングを行っている。青森県ジェトロの大連事務所で働いていた日本人、小野さんが帰国した後、この4月から勤めている。

仕事内容は、このような商品を売りたいという場合のパートナー探し、役所のお世話、ポートセールス、会場の予約取り、市場調査のためのアンケート取得、商談会のコーディネートなどを行っている。

更に、商談を仲介している中で、相手の話をどこまで信用してよいのかとの相談、契約内容の確認、企業を設立する場合のセキュリティの問題、労務関係の相談を受けている。また、法律上の問い合わせにも応じている。

このセンターは20人～30人の非常勤通訳を持っており、それらに対応している。



青森県ビジネスサポートセンターでの説明

《主な質疑応答》

* 青森県秋田県との取引は。→青森県は水産関係の商品、りんごを大連に出荷している。秋田県は木材関係と日本酒を出荷している。

* 会社を設立した場合の報酬はあるのか。→税務など困ったときはスポット的に相談にのる。金額では計れないものがある。

* 商品の販売はサンプルを送ってもらい、品物を見せてやり取りをする。検品サービスも行っている。

* リスクについて心配されるところであるが。→日本側の立場に立って対応している。単価が折り合わなかったときの調整も行っている。

* 商品の傷などで、クレームはなかったか。→今までなかった。3か月間お金を支払っていなかった例がある。

* 日本から進出した企業の経営がうまくいかなかったとき、途中で工場でのトラブルが発生し、両方の言い分を聞き、お互いが話し合い誤解が解けて解決できた。

* 工業の場合はどうか。→金型は大連の人は覚えてしまっている。

中国人は、機械を作るノウハウを知らないので自動機を購入したいと思っている。しかし、台湾ではコピーの機械が出ている。日本が、機械を必要としていないのに中国に売ろうとしても売れない。ネットワークができていない。市場調査を行いニーズを知ることが大事である。ただ売りたい、これ売れますでは商売は成り立たない。どこで売れるかもわからない。商社を通じて、

中国のどこで何を望んでいるか相手先を見つけて取引をすることが重要である。
約40分あまりの短い時間であったが中身の濃い、有意義な懇談会だった。

「大田区のものづくりの世界展開を願い・施策を求めて」

団員 森 愛

10月18日より21日まで、中国大連市に親善訪問に行って参りました。

当初より親善と称し議員や行政が海外に行くこと自体に批判的でしたし、しかも、今の日中情勢、尖閣諸島の領土問題をめぐり、日中関係が緊張する中で、大田区議会として訪中するべきであるのか大変悩み、会派の中で中止するように申し、せめて延期とも言いました。

しかし、人口600万人規模の大連市が69万人の大田区と対等な友好都市提携をむすび、ものづくりの連携を行ってほしいとの門戸を、今、こちらから閉ざすのは、仕事を求めている大田区のものづくりが今後、海外に販路をもとめる道を閉ざすことになってしまう。と議決に応じ、選挙前の批判の種になることは覚悟していました。その上で、発展目覚ましい中国・大連の経済発展をいかに大田区のものづくり販路拡大につなげる事が出来るか、また、現在行われている産業施策の弱点と無駄を是正することなどしっかりと成果を議会として出さなければ、単なる税金の無駄遣いでありませぬ。大連視察を批判していた私が、批判覚悟で視察に行った成果をしっかりと示さねばならないと思っています。

中国 大連市視察

大連は中国東北部の経済が急拡大する中、中国の成長をけん引している“中国経済の新たな成長センター”といわれています。初めて訪れた中国・大連市は、街中が建設ラッシュのような状態。開発の勢いに満ちていました。建設中の巨大な壁には、美しく区画された未来都市のような絵が描かれ、そのとおりにまちづくりがすすめられていきます。この国は、経済は市場化されても、やはり一党による計画国家であり、だからこそ、国家プロジェクトの名のもとに巨大プロジェクトのスピードは日本とは格段に速い。しかしその開発の裏では、強制退去させられたご夫婦の不幸な事件であったり、表面上には現れていない国民の不満というものも聞かれました。



大連市内を走る路面電車

10月19日、大連では坂の多い地形からか、自転車のあふれかえる中国というかつてのイメージは全く当てはまらず、自動車とバイクの出勤ラッシュでした。沿道を歩く者ならばせき込むほどの排気ガス。かつては大連の名物といえば「青い空」とガイドの緑さんが説明してくれました。空は晴れているのですが、スモッグが覆っていて曇っていました。

人民政府を表敬訪問し、曹愛華副市長、大連市外事弁公室主任などとの会談では、美しい友好しか語られませんでした。10月20日大連市経済技術開発区：金州新区管理委員会を訪問し、金州新区経済貿易局商一局所長の馬克瑋さん、職員さんの綦柏林さんとの会談では、中国が日本のものづくり連携に望む本音を聞くことが出来たように思います。

開発区の現状とこれからの日本とのものづくり連携との展望を話し合う中で、日本電産視察など、中国進出された現地での苦勞や現状とこれからの展望も聞くことができ、開発区では大連がのぞむ大田区の中小企業の高い技術を、大田区の中小企業にとって、いかに実りある形で売り込んで行くか、必ずしもニーズのマッチングがうまくいっていないと感じました。

日本の高度技術への尊敬の念。そして、必ず追いつくという気概。

大田区の誇るものづくりの核心部をいかに守っていくことができるか、簡単ではないと思いました。

しかし、大連の開発の勢いはすさまじく、昨年の外国資本は100億元、国内投資額は、1000億元にもものぼり、その中国のスケールメリットを生かす企業同士の具体的なマッチング・契約までをどう進めたら良いのか、大連の商業担当の生の声と心の内も聞くことができました。そして、中小企業の規模によって、施策はまったく異なる大連進出にはスケールメリットを得られるだけのある程度の規模が必要であり、それを一緒にたに出来ないという点。また、個々の優れた技術を持つ小規模企業を集合体として、相手方と対等に渡り合えるだけの交渉には、現地人のスタッフの協力が不可欠であると感じました。また一方では、大田区が行っている効果の無い大連展示事務所(展示とパンフレットが全て日本語表記で、どこで誰をターゲットにしているのか？やる気が感じられない。年間200万円を捨てているようなモノ。また、現地日本人駐在員においては、1件の契約に2万円の出来高制だが、モチベーションがあがらず成果に結び付いていない中途半端な施策と言わざるを得ない)の改善の必要性(事業仕分け対象)の現状も見てくることができました。これについては、帰国後すぐに大田区の産業経済部に指摘に行き、改善の方向です。

マスコミのデモ報道は中国内陸部のもので、都市部では自分の住んでいる土地さえ誰ひとり自分の所有ではない中国で、尖閣諸島に感心を持っている市民の声は聞かれませんでした。

私を感じたのは、日本への批判というよりも、政府への不満と食品問題などによる政府への不信の声を外国人にも言えるようになった、むしろ民主的な感覚をもった中国の姿でした。日本の役所は住民サービスの場所であるが、中国の役所は住民を監視管理するところ。とも話していました。帰国してからの、尖閣諸島へ中国が警備するとの報道に遺憾ですが、国内不満を必死に日本批判へと振り向けようとしている中国に対し、日本一国ではなく、同じように領土侵出を被っている他の隣接国、国連と連帯して、毅然と抗議をする必要があると思います。

中国経済の目覚ましい開発の勢いを目の当たりにし、チャンスは大きいと感じました。少子高齢化の中で、日本の生産人口・消費人口の減少が指摘される中、日本経済にとって、もはや中国はなくてはならない存在であり、アジアまでを内需と捉えるような経済視野も求められていると感じます。今回の視察を大田区のものづくりにとって、販路拡大につなげ、また、現在行われている産業施策の弱点と無駄を是正し、議会として大田区のものづくりを世界に発信していくための施策をしっかりと示さねばならないと思っています。

日本電産日進（大連）工機有限公司視察

団員 押見 隆 太

私たち大田区議会大連市親善訪問団は、行程3日目の10月20日に大連市開発区にある日系企業『日本電産日新（大連）工機有限公司』を訪問しました。

日本電産日新（大連）工機有限公司は2002年に設立され、当初は大連日新工機有限公司という名称でしたが、その後、親会社の資本提携により、現在の社名になったとのことでした。アジアでは日本以外で大連・上海など7か所を生産拠点とし、主な事業内容は精密プラスチックパーツ成形や工具・金型製作を行っています。簡単に言うと自動車やコピー機などのプラスチックの歯車で大きなシェアを持っているとのことでした。取引先としては、大田区に本社があるコピー機製造メーカーへの売り上げが50%を占めていて、大田区との関係性も深い印象がありました。

大連の工場では、主に上記に挙げたプラスチックパーツを製造しており、単純な製品では価格競争に巻き込まれてしまうので、2色成形など付加価値をつけて製造しているとのことでした。

中の工場を視察してみると、以前視察で訪れたアルプス電気の大連現地法人では、機械というよりもまさにマンパワーを生かした人海戦術により、軽作業と検品を行っていた印象が強かったのですが、日本電産日新（大連）工機有限公司では、まず成形機などの生産設備で製造したあと、女性を中心とした従業員たちが加工・検品を行っている流れでした。

工場では多くの従業員が働いていて、日本人は管理職の4人だけでした。中国人従業員の賃金に関しては、昨年までは最低賃金が700元／月だったのが、現在では諸経費などを含めると1,200元／月にまで上昇してしまったとのこと。主な原因はストライキなどの労働争議で、同社だけでなく、大連の日系企業だけでも50社以上が労働争議に巻き込まれ、大きな問題であるとのことでした。

これだけ従業員の給料が上がると、正直大連に進出しているメリットがかなり減少していて、新規で進出するメリットはもう大連にはなく、中国の田舎に進出するのであればまだメリットはあるとのこと、同社も将来的には考えなくてはいけない大きな問題であると話されていました。

また、労働争議に関して、全従業員にそうした発想や思想があるのではなく、一部の5%くらいの従業員による行動が、残り90%の従業員を従えてしまい大きなストライキや労働争議に発展してしまうとのこと、日系企業など外資系企業で労働争議が多く起きていて、中国の田舎の工場ではほとんど労働争議は起きておらず、そういった意味でも大連に進出するよりは、田舎に進出するほうがよいとの話が印象的でした。



日本電産日新（大連）工機有限公司視察

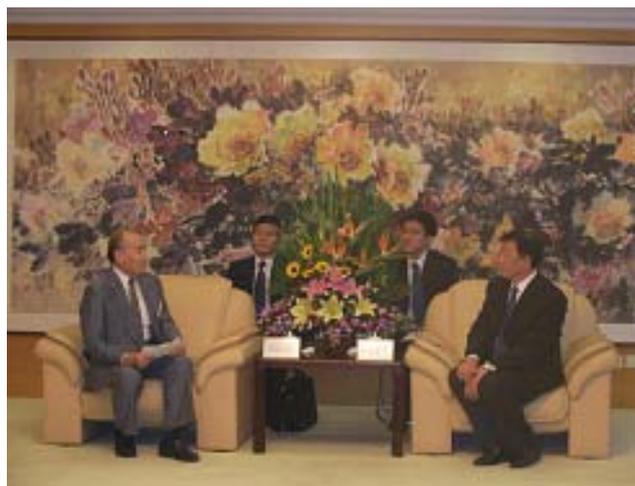
大連市人民代表大会常務委員会表敬訪問

団員 鈴木隆之

平成22年10月18日より21日までの日程で、大田区議会9名の派遣議員団で中国大連市での友好親善訪問を行った。私は3日目に当たる20日の表敬訪問に関して報告する。

午後5時より大連市人民代表大会常務委員会の銭忠傑副主任と30分の会談予定であったが、河津団長と銭副主任との会談は多岐にわたり、予定を若干超過しての会談となった。昨年大田区の親善訪問団が大連を訪れた際に、当時の永井大田区議会議長と陳副主任との間で友好促進に関する調印が交わされ、それを踏まえての訪問であったため、終始和やかな会談となった。銭副主任からは冒頭、本年、大連の学生が大田区を訪れた際のお礼から始まった。また今後の日中友好の促進のため、大田区と大連市との更なる友好関係を築き上げるとともに、大田区と大連市の経済や文化を互いに尊重し合い、益々の良好な関係の構築を確認した。また大連市は多くの国内企業をはじめ外資系企業が軒を連ね、中国の技術系企業の発展の象徴とも言える都市である。そのため、銭副主任は「大田区は大連市にとって主要な関係都市であり、特に区内中小企業の技術には目を見張るものがある。よって大田区の企業の大連進出に関しては協力を惜しまないと同時に、相互の技術協力に関しても推進をしていきたい。」との見解を示した。また積極的な企業の誘致活動を行うことと、その誘致後のサービスが非常に重要であるとの考えを述べ、総合的な企業援護体制の確立を目指す姿勢が伺えた。それらの意見に対し河津団長からは、経済、技術そして文化にまで及ぶ積極的な友好関係の促進を目指すこと、両国の学生間の交流も深めることが重要との見解を示した。

尖閣諸島問題に端を発した対中、対日のあつれきが生じる中での今回の訪問に関しては賛否両論があったのは事実である。しかし国民感情には理解をし、配慮をしながらも友好の姿勢だけは崩すべきではないと考える。両者の互いの立場を尊重し合い、かつ自国の姿勢を示し、き然たる態度で臨んだ今回の訪問は、今後の大田区と大連市との友好関係向上のために確実に実りあるものであったことを再確認し、今回の訪中の報告とする。



河津団長と銭副主任の会談

大連市友好親善訪問を終えて

副団長 渡部 登志雄

2010年10月18日から21日までの3泊4日での親善訪問でした。

初日、午後からやはり日露戦争の舞台となった旅順・203高地を視察しました。日本軍・ロシア軍合わせて15,000人から20,000人近い尊い命が奪われた、激戦地の視察でした。

日露戦争なのに、なぜ中国の大連市が舞台なのか不思議に思っていたら、当時は中国の大連市付近はロシアの領土であったとのことで納得しました。また、当時の監獄（日我監獄）も視察しました。

2日目は大連市人民政府を訪問。副市長曹愛華副市長（女性42歳）と会談。約1時間の会談でした。昨年10月28日、松原大田区長と大連市副市長の載玉林副市長により、大田区と中国大連市との「友好協力関係都市に関する協定書」を取り交わし、相互に訪問・親善を深めることなど5項目の締結の具体化について、突っ込んだ意見の交換がありました。特に、羽田東京国際空港と大連周水子国際空港との直行便就航を進めること、大田区の中小企業の工業の発展のために、貿易強化・拡大をさらに進めていきたい旨申し上げたことなど、大変有意義でありました。



青森県ビジネスサポートセンターにて

日本と中国との政治的な面、経済的な面での主だった発言はありませんでした。むしろ、大田区からどんどん大連に来てほしい、交流をもっと深めていきたい旨の発言が多くありました。

また、今年大田区を訪問された大連の私立瑞格中学校を訪問し、1時間半の交流を行いました。大田区を訪問された児童・生徒は59名、先生など随行13名の計72名でしたが、今回対応してくれた生徒・先生など、たくさんの方々で迎えてくれました。概要説明では、私立で7つの学校を経営されているとの報告もありました。また、瑞格中学校の生徒は、寮生活者、通学など様々ですが、バスで通学している生徒が多く、一番遠い人で40分かかっているとの報告もありました。

将来の希望は、新聞記者、IT関係の技術者になりたいなど様々な話がありました。日本を訪問された時の感想を聞くと、「緑が多く、環境面ですばらしい。」、「ディズニーランドを訪問したときも、履いていた靴が最初から最後まで全然汚れなかった。」などの感想を述べていました。

次に青森県ビジネスサポートセンターを訪問。主に秋田県の酒、木材、青森県のりんごなどの販売貿易のコンサルタントを行っているセンターを視察しました。

何の提携もなく、関連企業もなく、ただ大連に来れば仕事が見つかるなど甘い考えを持った方、企業、団体、零細企業などがいるが、そうした漠然とした中での貿易はうまくいっていない。失敗に終わっている。などのコンサルタントとしての話をいただきました。大変参考になった思いでした。中国に仕事を出せば、賃金が安くなるから、成功するような空想では必ず失敗することのノウハウを教えてくださいました。

3日目は大連の経済開発区（金州新区管理委員会）を訪問。貿易に対する助言を頂きました。なかなか仕事に結びつかない、事業化に失敗している旨の内容の話も聞くことができました。本

音での話しでした。

日本電産日新工機株式会社訪問。従業員440人。日本人4人<社長、副社長、常務、工場長> 人件費が安くキヤノンの下請けで工場を経営。人件費は3万円位。いま大連市では人件費を2倍、3倍にしてくれとの交渉ごとが行われており、会社としてもいきなり人件費が2倍、3倍になったら、会社がもたない、別の場所に移らなければならない、など悲鳴を上げておられました。

夕方には大連市人民代表大会常務委員会を訪問。銭忠傑副主任（副市長格）と約50分の会見がありました。

平成21年10月27日に当時の永井議長など大田区議団が訪問し、人民代表大会常務委員会との「友好協力に関する覚書」に基づいて会談が行われました。終始にこやかに、大田区親善訪問団の話しを聞いていただき、羽田・大連間の直行便就航、中小企業の交流事業化、学校の交流なども是非行っていきたい旨の力強い表明がありました。

夜の交換会では、大連市側から今後も皆さん方が団体を引き連れて、大連に来てほしい。交流をもっと広めていこうではないか！など、日本と中国との政治的にも経済的にも混乱が一部で続いておりますが、全く関係ないようなこれからも友好親善を深めていきたいとの話が多くありました。

4日目は満州からの引き揚げ船が出港した大連港を視察。

戦争に負けて、ここから一刻も早く満州を脱出して日本に帰りたいなどの悲痛な叫びがあった港。二葉百合子さんの岸壁の母に出てくる、大田区大森北四丁目に住まわれていた「端野いせ」さんの物語を思い出します。

大連市は面積が12,573 k m²、人口613万人。面積は大田区の200倍、東京23区の20倍、人口は大田区の9倍の規模を持つ大変大きい市であります。本来ならば大連市の一つの区との交流になるところを、大連市そのものとの友好交流でした。

今回の親善訪問団、友好訪問は、中国の世情が騒がしいときに行きましたが、最初は少し不安がありました。行ってよかったと思っております。やはり他国との交流は積極的に進めていくべきであります。必ずしも早急な果実を求めるのではなく、将来を見据えた交流が必要であると思えます。



大連市内

3 歴代議長・副議長・議員選出監査委員

(1) 歴代議長

代	氏名	在任期間						
初代	永久保新蔵	昭和22年	5月	26日	～	昭和23年	6月	25日
2代	太田 己信	昭和23年	6月	25日	～	昭和24年	5月	30日
3代	太田 己信	昭和24年	5月	30日	～	昭和25年	5月	30日
4代	松本 鶴二	昭和25年	5月	30日	～	昭和26年	4月	29日
5代	落合 鈺行	昭和26年	5月	28日	～	昭和27年	5月	29日
6代	松本 鶴二	昭和27年	5月	29日	～	昭和28年	6月	2日
7代	橋爪儀八郎	昭和28年	6月	2日	～	昭和29年	6月	1日
8代	門倉 傳造	昭和29年	6月	1日	～	昭和30年	4月	30日
9代	橋爪儀八郎	昭和30年	5月	26日	～	昭和31年	3月	14日
10代	小原 義雄	昭和31年	3月	14日	～	昭和32年	4月	8日
11代	大山 正行	昭和32年	4月	8日	～	昭和33年	3月	31日
12代	小田 七蔵	昭和33年	3月	31日	～	昭和34年	4月	30日
13代	永久保新蔵	昭和34年	6月	4日	～	昭和35年	6月	8日
14代	竹内 三郎	昭和35年	6月	8日	～	昭和36年	8月	1日
15代	鈴木 諭吉	昭和36年	8月	1日	～	昭和37年	8月	1日
16代	中島 縞吉	昭和37年	8月	1日	～	昭和38年	4月	30日
17代	野沢 賢吉	昭和38年	5月	28日	～	昭和39年	6月	6日
18代	横溝 儀市	昭和39年	6月	6日	～	昭和40年	5月	31日
19代	水戸 邦夫	昭和40年	5月	31日	～	昭和41年	6月	1日
20代	坂本辰治郎	昭和41年	6月	1日	～	昭和42年	4月	30日
21代	竹内 正作	昭和42年	5月	26日	～	昭和43年	6月	11日
22代	岡村新三郎	昭和43年	6月	11日	～	昭和44年	6月	12日
23代	田中善八郎	昭和44年	6月	12日	～	昭和45年	6月	12日
24代	狩野 昌平	昭和45年	6月	12日	～	昭和46年	4月	30日
25代	平林 義雄	昭和46年	5月	21日	～	昭和47年	6月	7日
26代	横溝 恒次	昭和47年	6月	7日	～	昭和48年	6月	11日
27代	狩野 昌平	昭和48年	6月	11日	～	昭和49年	6月	11日
28代	佐藤 良平	昭和49年	6月	11日	～	昭和50年	4月	30日
29代	小宮 岩雄	昭和50年	5月	30日	～	昭和51年	6月	10日
30代	渡辺 謙信	昭和51年	6月	10日	～	昭和52年	6月	10日
31代	塚越 順一	昭和52年	6月	10日	～	昭和53年	6月	13日
32代	直井 建蔵	昭和53年	6月	13日	～	昭和54年	4月	30日
33代	吉田 正晴	昭和54年	5月	30日	～	昭和55年	6月	13日
34代	佐藤 大助	昭和55年	6月	13日	～	昭和56年	6月	15日
35代	湯本 良雄	昭和56年	6月	15日	～	昭和57年	6月	17日
36代	吉田 義雄	昭和57年	6月	17日	～	昭和57年	12月	24日
37代	坂本辰治郎	昭和57年	12月	24日	～	昭和58年	4月	30日
38代	平林 淳宏	昭和58年	5月	30日	～	昭和60年	6月	14日
39代	諸星 博一	昭和60年	6月	14日	～	昭和62年	4月	30日
40代	松原 隆	昭和62年	5月	29日	～	平成元年	6月	15日

代	氏名	在任期間						
41代	宮田 欣一	平成元年	6月	15日	～	平成 2年	6月	15日
42代	梅沢喜代造	平成 2年	6月	15日	～	平成 3年	4月	30日
43代	永井 敬臣	平成 3年	5月	30日	～	平成 5年	5月	31日
44代	張替 暁雄	平成 5年	5月	31日	～	平成 7年	4月	30日
45代	神林 茂	平成 7年	5月	29日	～	平成 8年	5月	29日
46代	藤田 静男	平成 8年	5月	29日	～	平成 9年	5月	29日
47代	田中 一吉	平成 9年	5月	29日	～	平成11年	4月	30日
48代	永井 敬臣	平成11年	5月	17日	～	平成12年	5月	29日
49代	近藤 忠夫	平成12年	5月	29日	～	平成13年	5月	25日
50代	河津 章夫	平成13年	5月	25日	～	平成15年	4月	30日
51代	川上 智由	平成15年	5月	23日	～	平成16年	5月	12日
52代	小原 直美	平成16年	5月	26日	～	平成17年	5月	27日
53代	水井 達興	平成17年	5月	27日	～	平成19年	4月	30日
54代	永井 敬臣	平成19年	5月	21日	～	平成22年	5月	25日
55代	高瀬 三徳	平成22年	5月	25日	～			

(2) 歴代副議長

代	氏名	在任期間						
初代	吉松 貞弥	昭和22年	5月	26日	～	昭和23年	6月	25日
2代	田村 常義	昭和23年	6月	25日	～	昭和24年	5月	30日
3代	三川東九郎	昭和24年	5月	30日	～	昭和25年	5月	30日
4代	直井梅太郎	昭和25年	5月	30日	～	昭和26年	4月	29日
5代	松波松太郎	昭和26年	5月	28日	～	昭和27年	5月	29日
6代	鈴木 諭吉	昭和27年	5月	29日	～	昭和28年	6月	2日
7代	三ツ木 進	昭和28年	6月	2日	～	昭和29年	6月	1日
8代	高村 三郎	昭和29年	6月	1日	～	昭和30年	4月	30日
9代	高岡 栄馬	昭和30年	5月	26日	～	昭和31年	5月	24日
10代	早田判九郎	昭和31年	5月	24日	～	昭和32年	5月	27日
11代	小関 治	昭和32年	5月	27日	～	昭和33年	5月	30日
12代	渡辺 才一	昭和33年	5月	30日	～	昭和34年	4月	30日
13代	廣瀬 繁男	昭和34年	6月	4日	～	昭和35年	7月	9日
14代	三宅 穰	昭和35年	7月	9日	～	昭和36年	8月	1日
15代	田村 常義	昭和36年	8月	1日	～	昭和37年	8月	1日
16代	岡部 寛三	昭和37年	8月	1日	～	昭和38年	4月	30日
17代	亀石 正男	昭和38年	5月	28日	～	昭和39年	6月	6日
18代	島崎 初	昭和39年	6月	6日	～	昭和40年	5月	31日
19代	榎本 静雄	昭和40年	5月	31日	～	昭和41年	6月	1日
20代	川上 正男	昭和41年	6月	1日	～	昭和42年	4月	30日
21代	小菅 滋	昭和42年	5月	26日	～	昭和43年	6月	11日
22代	荒木桂太郎	昭和43年	6月	11日	～	昭和44年	6月	12日
23代	岡部 寛三	昭和44年	6月	12日	～	昭和45年	6月	12日
24代	島崎 初	昭和45年	6月	12日	～	昭和46年	4月	30日
25代	小菅 滋	昭和46年	5月	21日	～	昭和47年	6月	7日
26代	榎本 静雄	昭和47年	6月	7日	～	昭和48年	6月	11日
27代	根本 常章	昭和48年	6月	11日	～	昭和49年	6月	11日
28代	岡部 寛三	昭和49年	6月	11日	～	昭和50年	4月	30日
29代	橋野 淳	昭和50年	5月	30日	～	昭和51年	6月	10日
30代	園部 恭平	昭和51年	6月	10日	～	昭和52年	6月	10日
31代	高橋 正芳	昭和52年	6月	10日	～	昭和53年	6月	13日
32代	大野 進見	昭和53年	6月	13日	～	昭和54年	4月	30日
33代	桑原 春蔵	昭和54年	5月	30日	～	昭和55年	6月	13日
34代	橋野 淳	昭和55年	6月	13日	～	昭和56年	6月	15日
35代	高橋 正芳	昭和56年	6月	15日	～	昭和57年	6月	17日
36代	南条 弘吉	昭和57年	6月	17日	～	昭和58年	4月	30日
37代	藤江 三平	昭和58年	5月	30日	～	昭和59年	6月	7日
38代	佐野雅一郎	昭和59年	6月	7日	～	昭和60年	6月	14日
39代	斉藤 文男	昭和60年	6月	14日	～	昭和61年	6月	13日
40代	野沢 登	昭和61年	6月	13日	～	昭和62年	4月	30日

代	氏名	在任期間						
41代	高橋 正芳	昭和62年	5月	29日	～	昭和63年	6月	10日
42代	斉藤 文男	昭和63年	6月	10日	～	平成 2年	6月	15日
43代	野沢 登	平成 2年	6月	15日	～	平成 3年	4月	30日
44代	五十嵐雅夫	平成 3年	5月	30日	～	平成 4年	5月	29日
45代	溝口 誠	平成 4年	5月	29日	～	平成 5年	5月	31日
46代	有川 靖夫	平成 5年	5月	31日	～	平成 6年	5月	31日
47代	亀山 幸正	平成 6年	5月	31日	～	平成 7年	4月	30日
48代	田口 仁	平成 7年	5月	29日	～	平成 8年	5月	29日
49代	星野 仁	平成 8年	5月	29日	～	平成 9年	5月	29日
50代	飯島修一郎	平成 9年	5月	29日	～	平成10年	5月	29日
51代	荒川 善夫	平成10年	5月	29日	～	平成11年	4月	30日
52代	高橋 博	平成11年	5月	17日	～	平成12年	5月	29日
53代	飯田 茂	平成12年	5月	29日	～	平成13年	5月	25日
54代	富田 俊一	平成13年	5月	25日	～	平成14年	5月	30日
55代	溝口 誠	平成14年	5月	30日	～	平成15年	4月	30日
56代	有川 靖夫	平成15年	5月	23日	～	平成16年	5月	26日
57代	田口 仁	平成16年	5月	26日	～	平成17年	6月	8日
58代	荒川 善夫	平成17年	6月	8日	～	平成18年	5月	29日
59代	高橋 博	平成18年	5月	29日	～	平成19年	4月	30日
60代	飯田 茂	平成19年	5月	21日	～	平成20年	5月	23日
61代	清波 貞子	平成20年	5月	23日	～	平成21年	5月	25日
62代	古山 昌子	平成21年	5月	25日	～	平成22年	5月	25日
63代	渡部登志雄	平成22年	5月	25日	～			

(3) 歴代議員選出監査委員

氏 名		同意年月日
桜井 哲郎		昭和22年 7月 28日
松原 茂一	岸田 交三	昭和24年 9月 21日
久保井良輔	成田 勇司	昭和26年 5月 30日
門倉 傳造	廣瀬 繁男	昭和27年 5月 29日
松橋 一誠		昭和29年 6月 1日
岸田 交三		昭和30年 5月 28日
吉岡権之助		昭和31年 5月 24日
水戸 邦夫		昭和32年 5月 27日
平林 金蔵		昭和33年 5月 30日
横溝 儀市		昭和34年 6月 9日
水戸 邦夫		昭和35年 6月 9日
園部 恭平		昭和36年 8月 1日
和田 新作		昭和37年 8月 1日
三ツ谷光勇		昭和38年 5月 30日
坂本辰治郎	園部 恭平	昭和39年 6月 6日
直井梅太郎	桑原 春蔵	昭和40年 5月 31日
綱嶋 源蔵	建 俊一	昭和41年 6月 1日
綱島 金蔵	茂呂 広	昭和42年 5月 27日
野沢 賢吉	尾崎フミエ	昭和43年 6月 12日
萩原 通男	伊藤 憲一	昭和44年 6月 12日
松波松太郎	石井 光義	昭和45年 6月 12日
橋野 淳	松原 忠雄	昭和46年 5月 22日
池山 鉄夫	大野 進見	昭和47年 6月 7日
渋谷 要	南条 弘吉	昭和48年 6月 11日
高橋 正芳	伏見 一喜	昭和49年 6月 11日
坂本辰治郎	田村 忠男	昭和50年 5月 30日
水戸 邦夫	木部美穂子	昭和51年 6月 10日
横溝 恒次	織田 純忠	昭和52年 6月 10日
平林 義雄	伊藤 憲一	昭和53年 6月 13日
佐藤 良平	西澤 正一	昭和54年 6月 15日
塚越 順一	松原 忠雄	昭和55年 6月 13日
小宮 岩雄	高崎 秀雄	昭和56年 6月 15日
吉田 正晴	木部美穂子	昭和57年 6月 17日
小林 裕	渋谷 要	昭和58年 5月 30日
小菅 滋	小関 直彦	昭和59年 6月 15日
佐藤 大助	丹羽 正明	昭和60年 6月 14日
湯本 良雄	田村 忠男	昭和61年 6月 13日
野沢 登	石井 賢二	昭和62年 5月 29日
諸星 博一	若林 克弥	昭和63年 6月 10日
竹内 重雄	金子 典子	平成元年 6月 15日

氏 名		同意年月日
亀山 幸正	間明 幸造	平成 2年 6月 15日
松原 隆	斉藤 文男	平成 3年 5月 30日
平林 淳宏	田口 仁	平成 4年 5月 29日
梅沢喜代造	石井 賢二	平成 5年 5月 31日
永井 敬臣	金子 典子	平成 6年 5月 31日
張替 暁雄	五十嵐雅夫	平成 7年 5月 29日
有川 靖夫	間明 幸造	平成 8年 5月 29日
神林 茂	溝口 誠	平成 9年 5月 29日
藤田 静男	小林 裕	平成10年 5月 29日
松原 隆	飯島修一郎	平成11年 5月 17日
荒川 善夫		平成12年 5月 29日
森 脩		平成12年 5月 30日
田中 一吉	高橋 博	平成13年 5月 25日
近藤 忠夫	岡崎 幸夫	平成14年 5月 30日
永井 敬臣	飯田 茂	平成15年 5月 23日
河津 章夫	富田 俊一	平成16年 5月 26日
田中 一吉	清波 貞子	平成17年 5月 27日
小原 直美	古山 昌子	平成18年 5月 29日
近藤 忠夫	渡部登志雄	平成19年 5月 21日
	松本 洋之	平成20年 5月 23日
	丸山 かよ	平成21年 5月 25日
	溝口 誠	平成22年 5月 25日

4 予算等

(1) 議会費 (当初予算)

(単位：千円)

科目	年度	平成22年度			平成21年度		
		議会費	事務局費	計	議会費	事務局費	計
報酬		367,092	0	367,092	382,416	0	382,416
給料		0	71,041	71,041	0	73,309	73,309
職員手当等		161,409	55,694	217,103	170,871	58,294	229,165
共済費		57,975	25,263	83,238	60,390	22,763	83,153
報償費		652	0	652	252	0	252
旅費		18,990	1,333	20,323	44,743	1,285	46,028
交際費		4,000	0	4,000	4,000	0	4,000
食糧費		50	26	76	69	26	95
一般需用費		16,336	1,401	17,737	14,880	1,178	16,058
役務費		16,069	348	16,417	14,552	472	15,024
委託料		23,080	464	23,544	3,133	555	3,688
使用料及び賃借料		1,473	715	2,188	1,505	745	2,250
工事請負費		29,820	0	29,820	0	0	0
備品購入費		130	0	130	182	0	182
負担金、補助及び交付金		132,480	4,064	136,544	138,000	4,411	142,411
合計		829,556	160,349	989,905	834,993	163,038	998,031

(2) 議員報酬

平成22年1月1日から適用

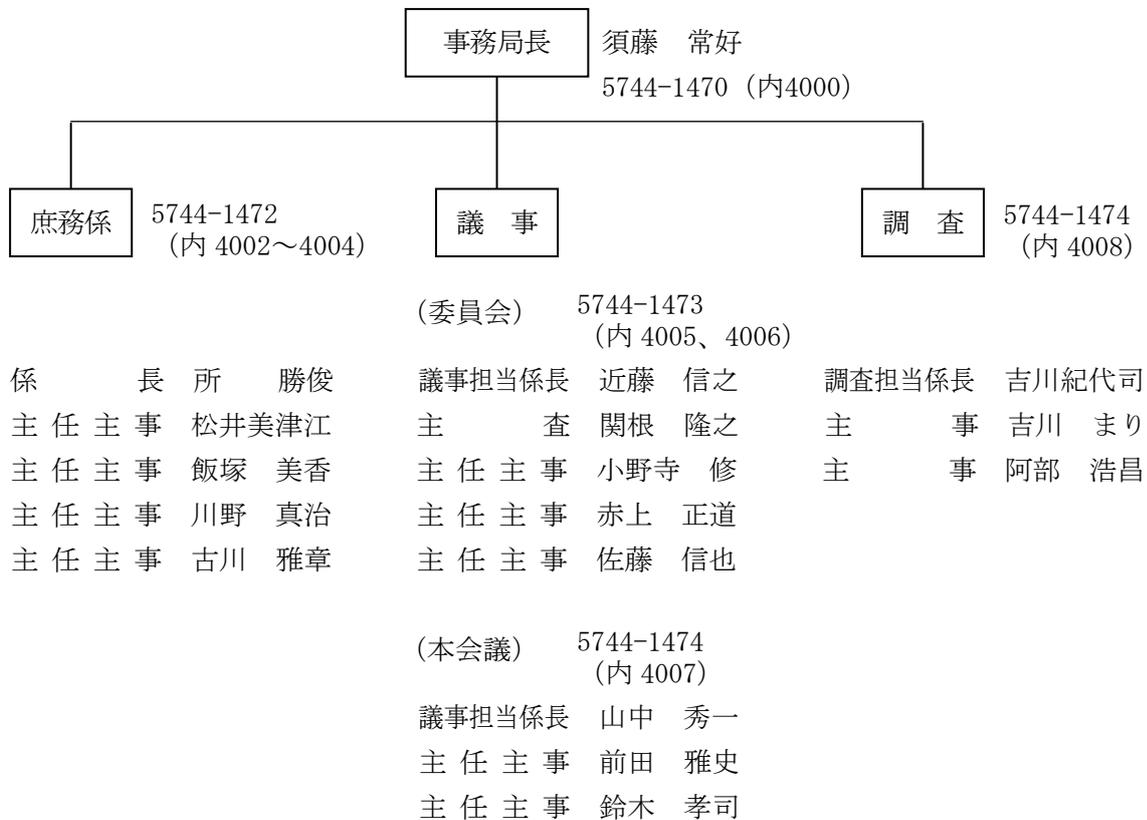
(単位：円)

区分	月額
議長	931,000
副議長	784,000
委員長	659,000
副委員長	632,000
議員	613,000

(3) 議会刊行物

種 類	発行回数	印刷部数	配 布 先
会議録	6回 (本会議開催の都度)	50部/回	議員、理事者、図書館、 ブロック区議会他
区議会だより	5回 (本会議開催の都度)	245,000部/回	区内の朝日、読売、毎日、 日経、産経、東京の各新聞に折り込み、特別出張所、図書館、広報スタンド他
声の区議会だより	5回 (本会議開催の都度)	テープ60本/回 CD15枚/回	視聴覚障害者1、2級の身体障害者及びこれに準ずる方
区議会年報	1回	130部	議員、図書館他
請願・陳情文書表	6回(定例会の都度) (1定、3定は各2回)	240部/回	議員、理事者他
議員名簿	1回(7月)	1,000部	議員、理事者他

5 事務局 (組織図) 平成22年12月28日現在



平成23年3月発行

平成22年（2010年）版
おおた区議会年報

発 行 大田区議会
編 集 大田区議会事務局
〒144 - 8621 東京都大田区蒲田五丁目13番14号
電話 (03)5744 - 1474